

お使いになる前に

BSチューナー内蔵
フラットワイドテレビ

型 AV-36MF8

型 AV-32MF8

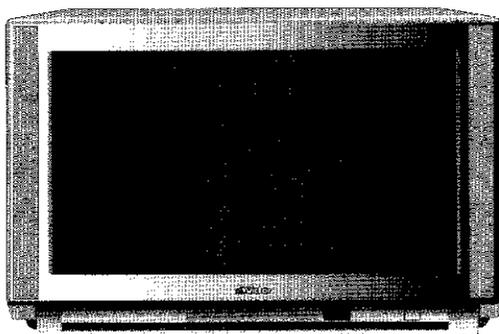
型 AV-28MF8

型 AV-32MH8

△ご使用前に**安全上のご注意**(別冊P.2~5ページ)を必ずお読みください。

There are important safety precautions another instruction booklet. Please have someone who reads Japanese explain them to you.

ふだんの方
使いたい方

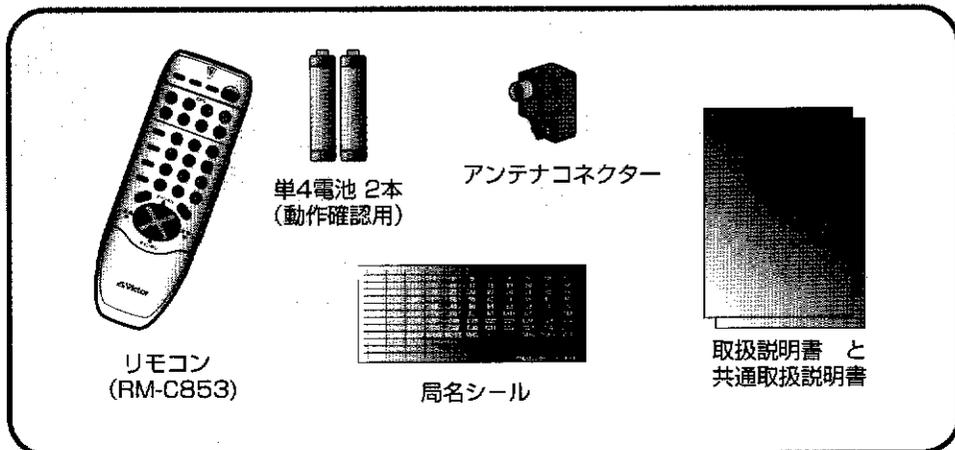


(注):本書は、AV-32MF8のイラストを使って説明しています。

くわしい
使いたい方

付属品を確認してください。

●万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



設定

接続と準備

お買い上げいただきありがとうございます

ご使用前にこの取扱説明書および別冊の共通取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

故障かな？
索引が
仕様？

目次

本書には、6つの検索方法があります。目的や状況に応じて効率良く説明を探してください。

はじめて
使用するとき

P.4

目次から探す

P.2、P.3
(このページです)

テレビやリモコンの
ボタン位置から探す

P.8~P.11
各部のはたらき
と参照ページへ

メニュー画面から
探す

P.5

症状やメッセージ
から探す

P.54~P.57

用語から探す

P.58

お使いに なる前に

ふだんの 使い方

くわしい 使い方

付属品を確認してください	表紙
目次	2
テレビを見るまえに	4
メニューの基本操作	5
各部のはたらきと参照ページ	8 ~ 11
ふだんの使い方	12 ~ 15
2画面で見る	16
2画面で見るには	16
操作画面を選ぶ	17
左右の映像を入れ換える	17
2画面のときの音声の間こえ方	17
2つの画面の音声を同時に聞くには	17
便利なマルチ画面	18
マルチチャンネル目次画面を表示する	18
マルチチャンネル目次画面から番組を探す	19
左右の映像を入れ換える	19
マルチ裏番組サーチ画面を表示する	20
マルチ裏番組サーチ画面からチャンネルを選ぶ	21
マルチ裏番組サーチ画面にチャンネルを登録する	21
画面サイズを選ぶ	22
画面サイズの種類について	22
画面サイズを選ぶ	23
字幕やスコアが画面からはみ出すとき	23

くわしい
使い方

設定

接続と
準備

タイマー機能を使う	24
設定した時間が経つと自動的にテレビを消す	24
テレビを目覚ましにする	24
一週間以内に放送される番組をオンタイマー予約する	25
今見ている番組を来週も見逃したくない	26
タイマー予約の確認・取り消し・変更をする	27
BS機能のないビデオでBSを録画する	28
ゲーム機をつないで遊ぶ	29
チャンネル合わせ	30
チャンネル合わせをする	30
チャンネル合わせした内容を変更するには	32
CATV(ケーブルテレビ)を見るときは	33
CATVチャンネルを直接選べるようにする	33
BS設定	34
BSアンテナの入力レベルを確認するには	34
BSアンテナ(コンバーター)への電源供給の設定をする	35
ビデオ2入力端子の設定をする	35
映像調節	36
お好みの映像に調節する	36
お好みの色調を選ぶ	37
音声調節	38
音質を調節する	38
節電設定	39
節電機能の種類	39
節電する	39
おトク機能を個別に設定するには	40
E.E.センサー効果を確かめるには	41
テレビの消し忘れを防ぐには	41
画面の設定	42
4:3の映像をノーマルサイズで表示するには	42
色むらを補正するには	42
端子の設定	43
コンポーネント入力端子の使用/不使用の設定をするには	43
ビデオ1からの信号をモニター出力させるには	43
ゴーストを低減する	44・45
時計合わせ	46
接続する	47
ビデオムービーの接続	48
ビデオデッキの接続	48
BS内蔵ビデオデッキの接続	48
ビデオデッキとBSデコーダーの接続	49
BS内蔵ビデオデッキとBSデコーダーの接続	49
ビデオデッキとMUSE-NTSCコンバーターの接続	50
BS内蔵ビデオデッキとMUSE-NTSCコンバーターの接続	50
ビデオデッキとBSデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続	51
BS内蔵ビデオデッキとBSデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続	52
DVDプレーヤーの接続	53
故障かな?と思ったらまず確かめて	54
症状から探す	54
こんなメッセージが表示されたら	55
用語索引	58
主な仕様	59

テレビを見るまえに

はじめてこのテレビをご使用になるときは、以下の手順にしたがって、準備を行ってください。

1 付属品を確認する

- 本書の表紙をご覧ください。不足しているものがないか、確認してください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

6 テレビの設定をする

- チャンネル合わせ (P.30)
- BS設定 (P.34)
- 時計合わせ (P.46)
- 設定をはじめる前にP.5~P.7をお読みになりメニューの基本操作を覚えてください。
- BS番組をご覧にならない場合は「BS設定」を行う必要はありません。

2 アンテナをつなぐ

- 別冊の「共通取扱説明書」のP.6~P.9をご覧ください。

5 電源プラグを差し込む

- 家庭用コンセント (交流100V) に差し込みます。

3 リモコンに電池を入れる (P.10)

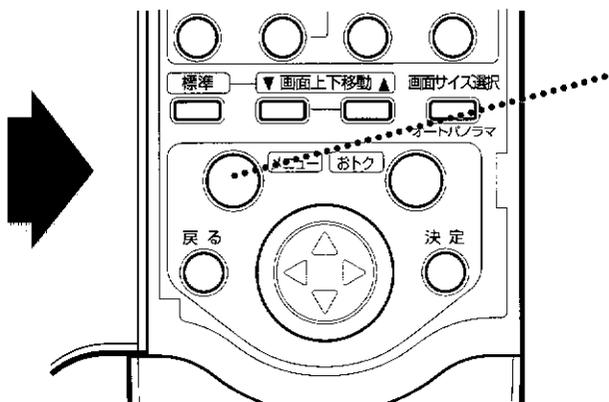
- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使い方です。6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったら交換してください。

4 ビデオやBSデコーダーなどの機器を接続する (P.47)

- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。
- 接続の際には端子についての重要な情報が書いてありますので9ページの「各部のはたらきと参照ページ」もお読みください。

メニューの基本操作

メニューは「映像調節」や「チャンネル合わせ」などのテレビの設定を行うときに使います。ここでは、メニューの基本的な操作方法を説明します。テレビの設定を行う前に5ページから7ページをお読みいただくと、よりスムーズに設定を行うことができます。



1 メニューを表示する



(注) このイラストは「タイマー設定」の画面が表示されたときの例です。
下の7つの中のいずれかが表示されます。

- もう1度メニューボタンを押すとメニューを終了します。

7つのメニュー選択画面

メニューは7つの画面で構成されています。画面の切り換え方については次ページをご覧ください。

タイマー設定

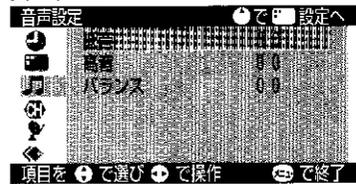
(46、24・25ページ)



映像設定 (36・37ページ)



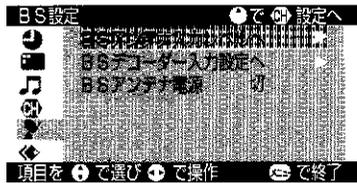
音声設定 (38ページ)



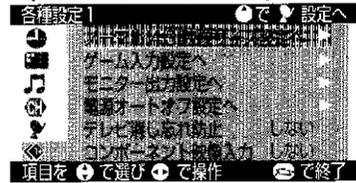
チャンネル設定 (30~33ページ)



BS設定 (34・35ページ)



各種設定1 (29、40~43ページ)



各種設定2

(39、42、18、44・45ページ)

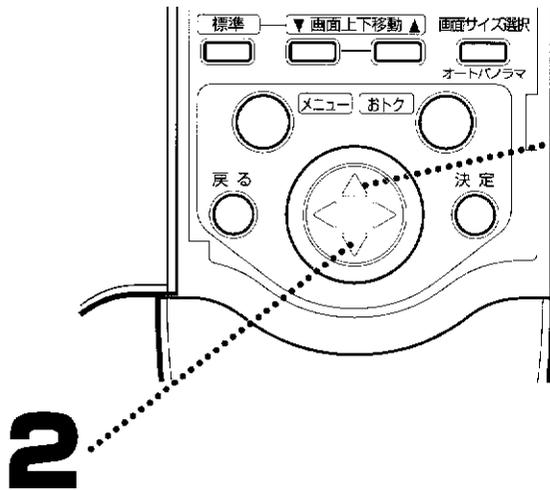


* 1 : 地磁気補正は、32型・36型のための機能です。

メニューを終了するとき
最後に選んでいた項目が記憶されます。
次にメニューボタンを押すと最後に記憶した項目が選ばれた状態で表示されます。

手順 2へ進む
(次ページへ)

メニューの基本操作 (つづき)

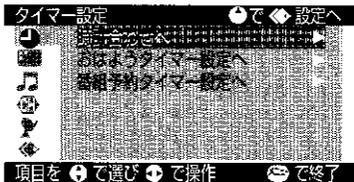


3 カーソルを上へ動かすには

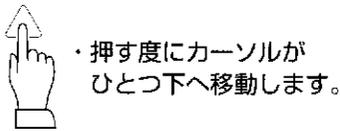


(注) ここでは「タイマー設定」の画面を表示したときの例で説明しています。

2 カーソルを下へ動かすには



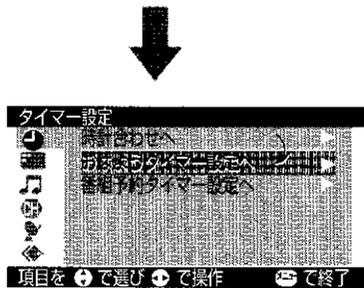
(注) ここでは「タイマー設定」の画面を表示したときの例で説明しています。



・押す度にカーソルがひとつ下へ移動します。



・押す度にカーソルがひとつ上へ移動します。



メニュー画面の各部の名称とはたらき

カーソル

・画面上で、黄緑色の帯がカーソルです。項目を選択するときに使います。

簡易操作説明

メニュー画面名 → タイマー設定

画面アイコン

メニュー画面を切り換えるときの目安としてご使用ください。

簡易操作説明

・簡単なメニューの操作説明が表示されます。

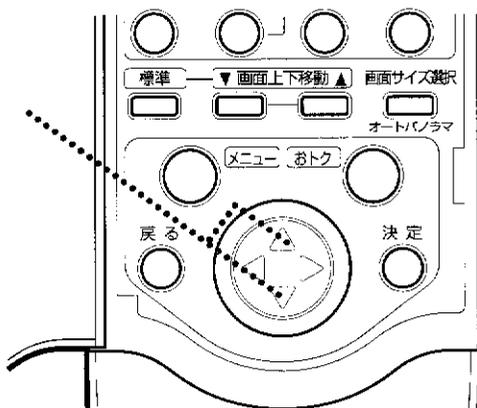


メニュー項目

4 他のメニュー画面を 表示するには



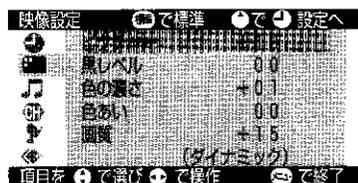
(注) ここでは「タイマー設定」の画面を表示していたときの例で説明しています。



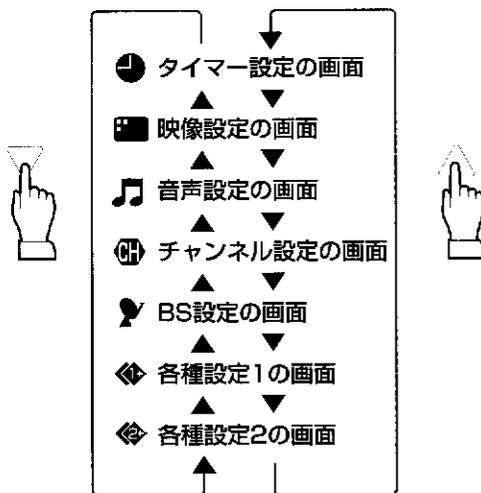
・2回押し、カーソルを一番下まで移動します。



・カーソルが一番下に移動した状態で更に1回押し。



■画面の切り換わる順番



メニュー画面をもっと効率的に表示するには

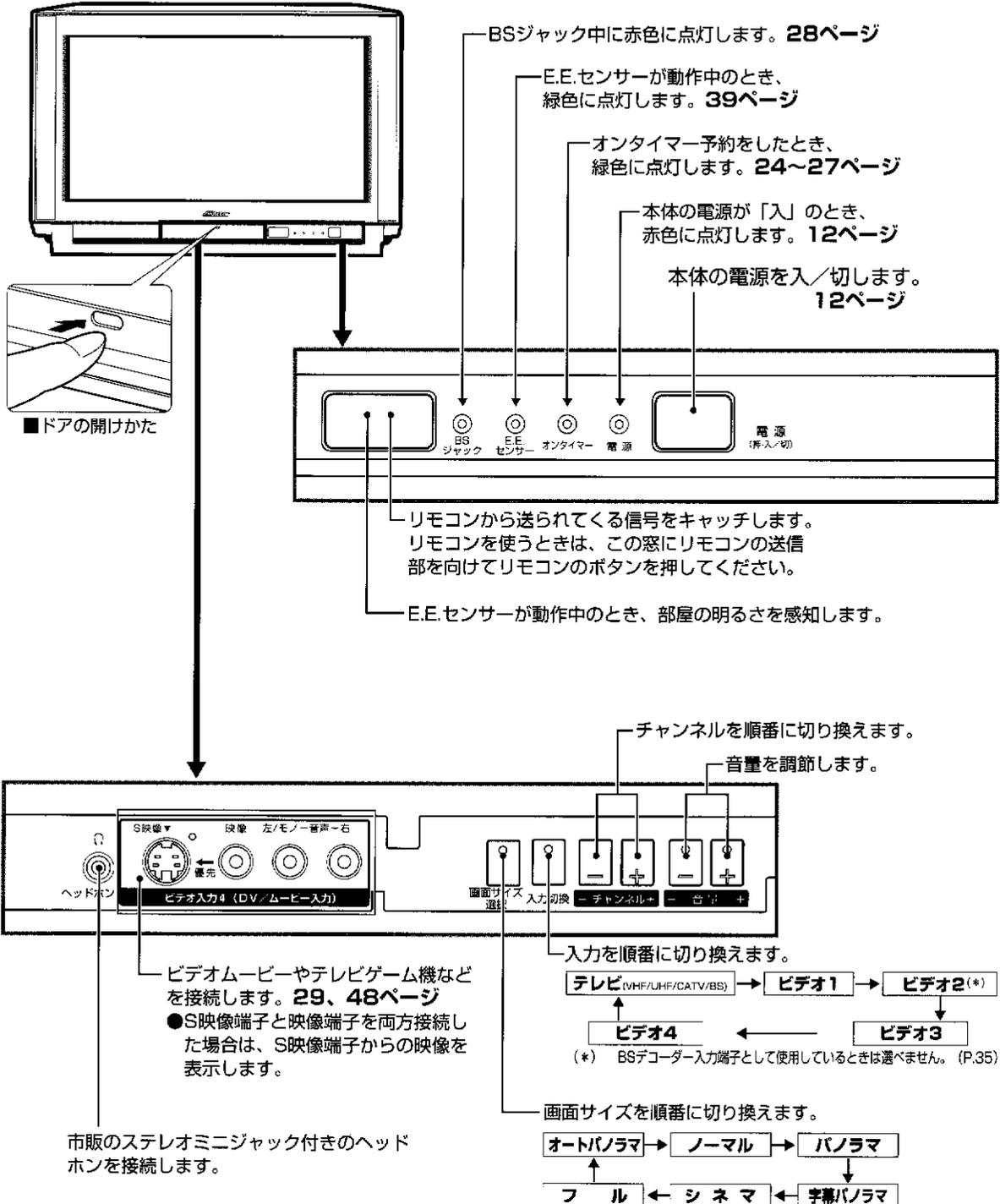
・△ または ▽ ボタンを押したまま保持します。カーソルが連続して移動を始めた後、メニュー画面が次々と切り換わります。

・メニュー画面が切り換わります。

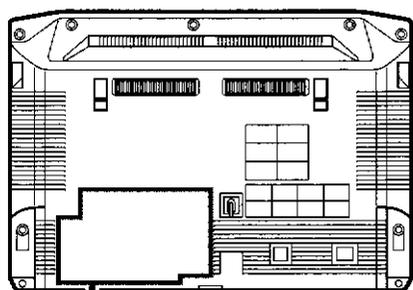
●同様に △ ボタンを押してカーソルを一番上まで移動し、更に1回押しと他の画面を表示することもできます。

各部のはたらきと参照ページ

テレビ前面

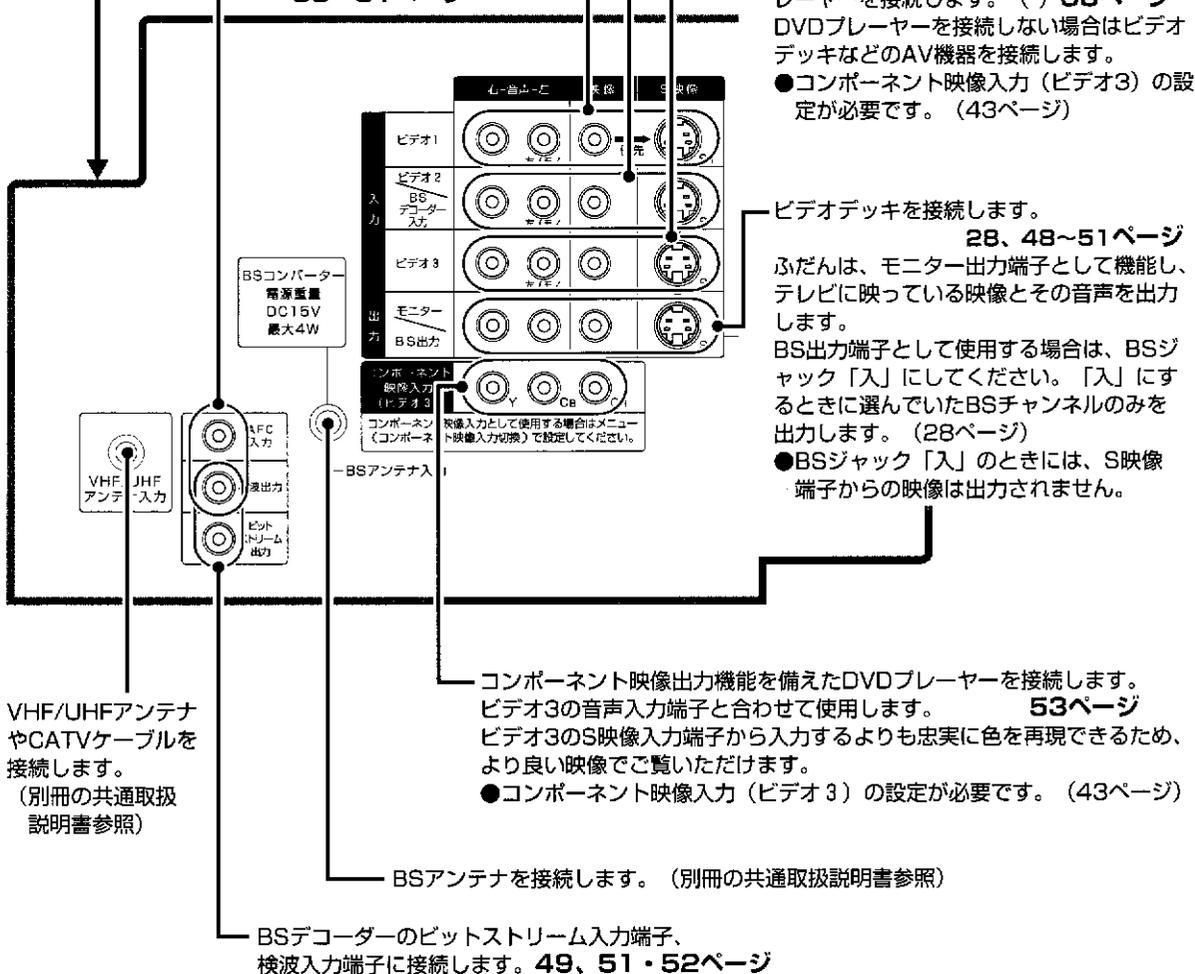


テレビ後面



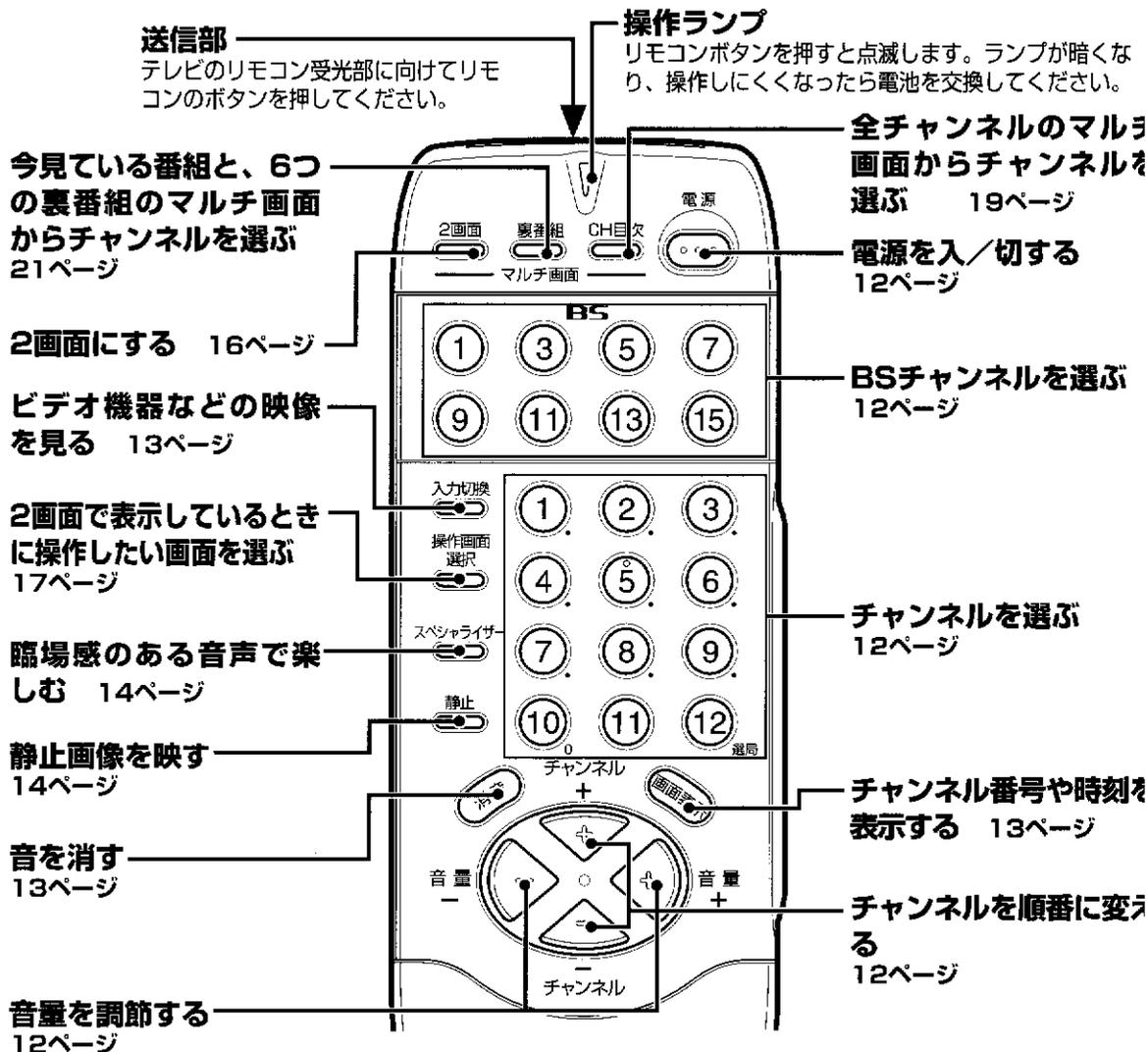
(注) このイラストは、AV-32MF8です。

MUSE-NTSCコンバーターのAFC
出力、検波入力端子に接続します。
50・51ページ



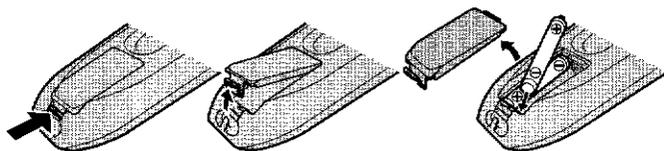
各部のはたらきと参照ページ (つづき)

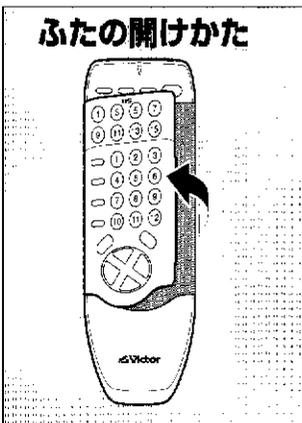
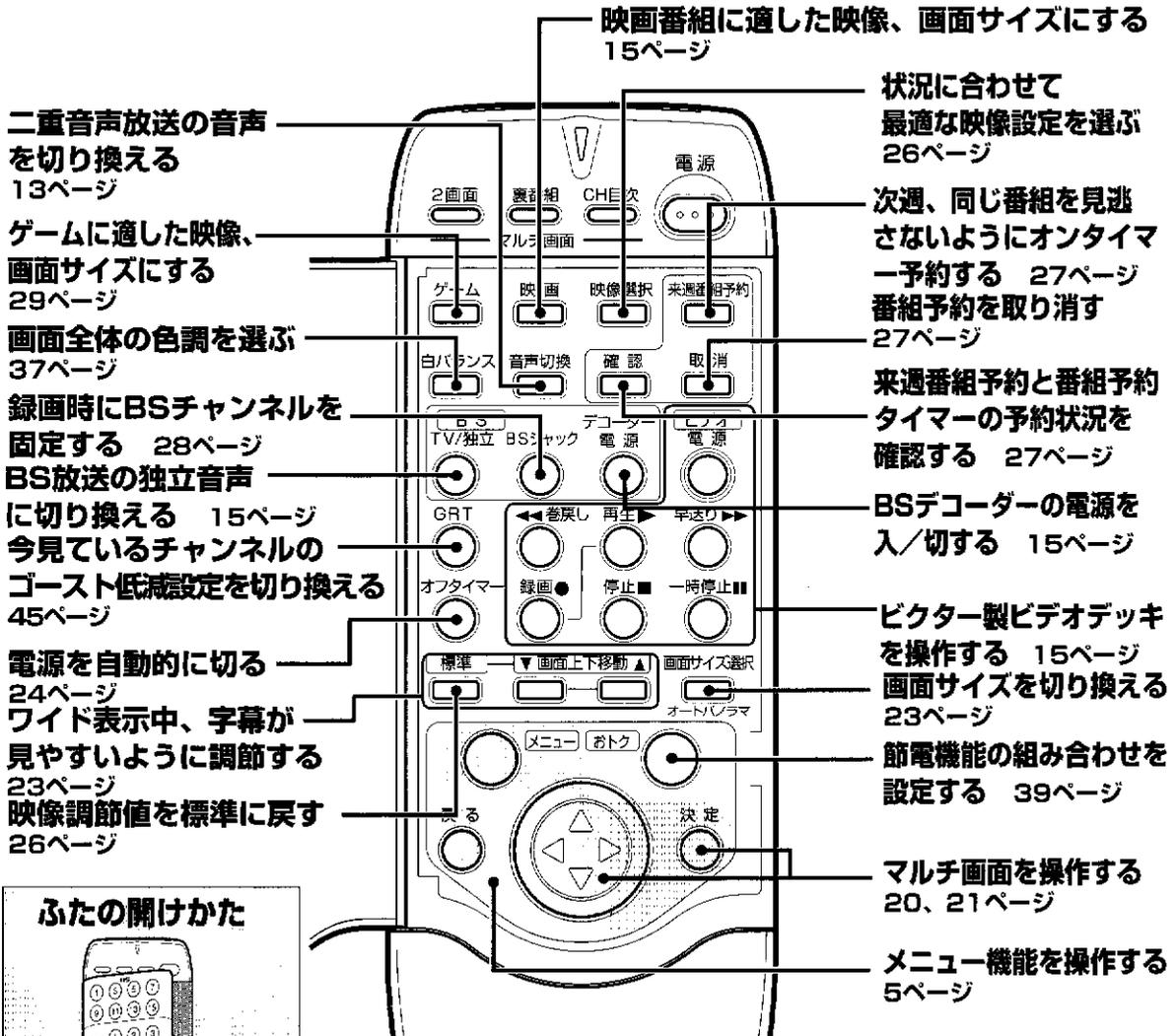
リモコン



リモコンに電池を入れる

単4乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の- (マイナス) 側を先に入れてください。





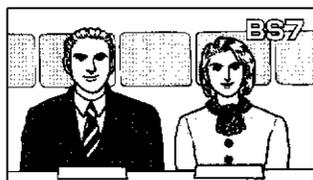
ふだんの使い方



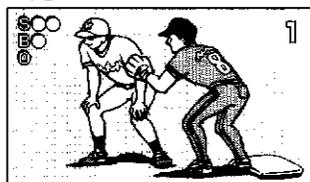
3

チャンネルを選ぶ

●BSを見るとき



●VHF/UHF/CATVを見るとき



1から12ボタンを使った選び方には、2つの方法があります。33ページの「CATVダイレクト設定」により、チャンネルの選び方が変わります。CATVと契約したときや、チャンネルがうまく選べないときにご覧ください。

1

電源を入れる



電源
(押入/切)

電源ランプが赤く点灯します。

4

電源を切る

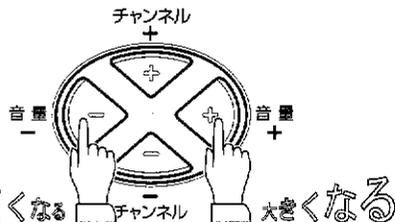


電源

次に電源を入れるときは、リモコン側で行えます。

2

音量を調節する



順番にチャンネルを選ぶ

チャンネル+

→ 1 ▶ ▶ ▶ 12 ▶ BS1 ▶ ▶ ▶ BS15

チャンネル-

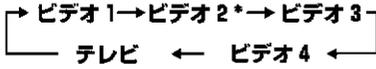
← 1 ◀ ◀ ◀ 12 ◀ BS1 ◀ ◀ ◀ BS15 ←

ワイドクリアビジョン放送について

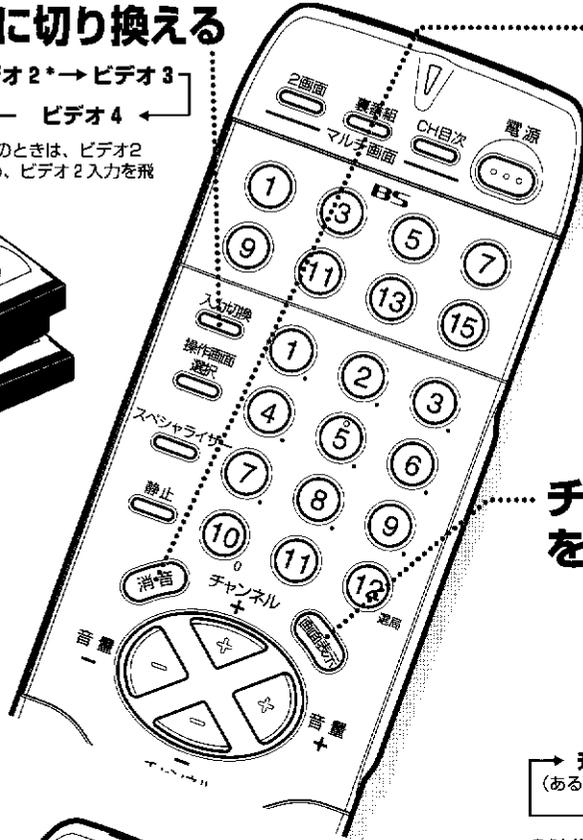
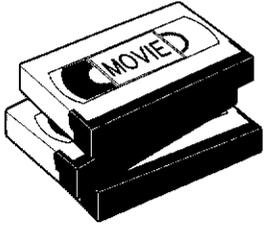
●本機は、ワイドクリアビジョン放送（映像の縦横比が9：16の放送）に対応しています。ワイドクリアビジョン放送を受信すると、自動的に最適な画面サイズ（シネマ）に変わります。

（受信状態が悪いときは正常に動作しないことがあります。また2画面でご覧になっているときは、画面サイズ切替は行われません。）

ビデオ画面に切り換える



*BSデコーダーをお使いのときは、ビデオ2端子が使えなくなるため、ビデオ2入力を飛び越すようになります。

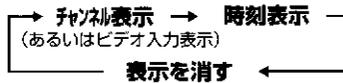
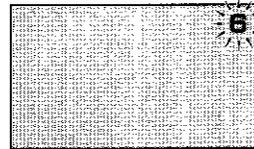


急いで音を消す

もう一度押すと元の音量に戻ります。

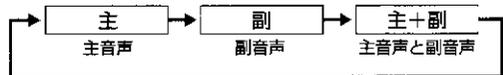


チャンネル番号や時刻を表示する



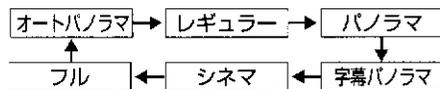
●映像が映っていないときは、表示を消すことはできません。

二重音声放送のとき音声を切り換える



- ステレオ放送中に雑音が入るときは音声切換ボタンを押して、音声をモノラルにすると聞きやすくなります。
- WOWOWなどのBS有料放送の音声はBSデコーダー側で選んでください。

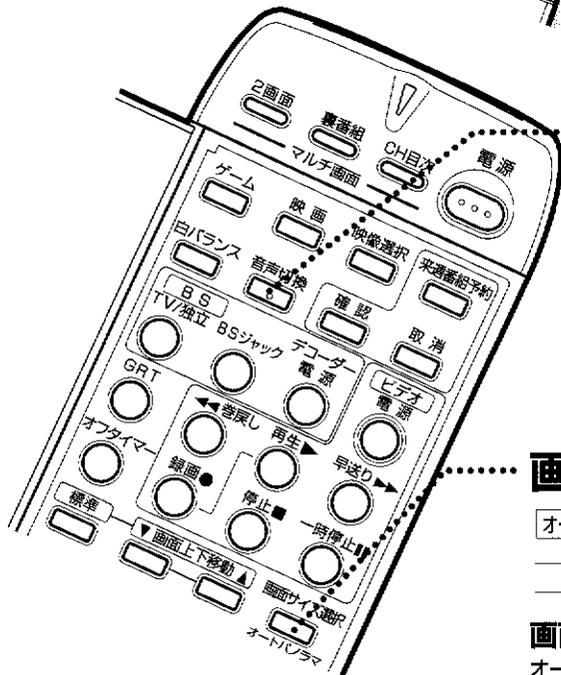
画面サイズを選ぶ



画面サイズを自動的に切り換えたいときは

オートパノラマを選ぶと、最適な画面サイズに自動的に切り換えます。

- 画面サイズについて詳しく知りたい場合は、22ページをご覧ください。



便利
 簡単
 操作
 方法

ふだんの使い方

パノラマサウンドで楽しむ

臨場感のある音声で楽しみたいときは、
スペシャルライザーの設定を「入」にしてください。



「スペシャルライザー 入」
↓
「スペシャルライザー 切」

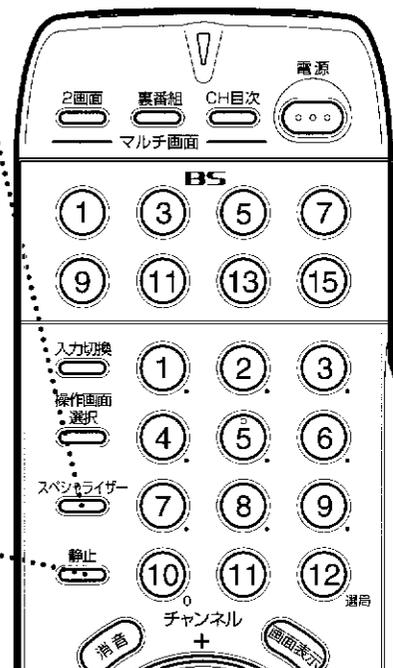
- 二重音声放送の検出ができない場合は、ステレオとモノラルは手動選択になります。ステレオ音声に臨場感を持たせたいときは、ステレオスペシャルライザーを選んでください。二重音声あるいはモノラル音声に臨場感を持たせたいときには、モノラルスペシャルライザーを選んでください。



「ステレオスペシャルライザー 入」
↓
「モノラルスペシャルライザー 入」
↓
「スペシャルライザー 切」



スペシャルライザーはデスパール・プロダクツ・インコーポレイティドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZER®およびシンボルマークはデスパール・プロダクツ・インコーポレイティドの登録商標です。

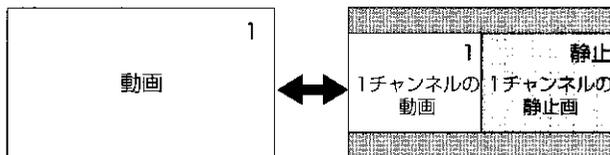


簡単メモ取り機能を使う

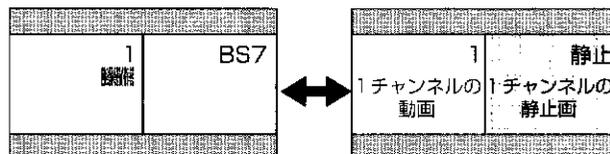
番組内で紹介したお薦めのお店への地図や番組への応募はがきの宛先など、とっさにメモをしたいときに押します。

映像が静止画像になりゆっくりメモを取ることができます。

1画面のとき 静止した映像が右画面に映る



2画面のとき 操作画面が静止して右画面に映る

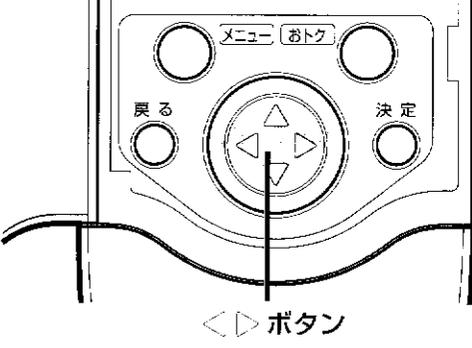


●2画面および操作画面については16ページをご覧ください。

2画面で見る

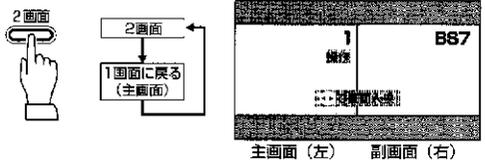


ふたを開けたところ



2画面で見るには

異なる番組やビデオなどの映像を2つの画面で同時にお楽しみいただけます。2画面ボタンを押す度に、2画面と1画面が切り換わります。



2つの画面のうち、チャンネルの選択や音量の調節を行える画面を「操作画面」と呼びます。

- 「操作」の表示がある画面が操作画面です。
- 「操作」の表示は数秒間で消えます。「操作」を画面に表示しておきたいときは、画面表示ボタンを押してチャンネル表示に切り換えてください。(P.13)。
- 「操作画面」の切換については、次ページをご覧ください。

2画面表示のとき、左画面を「主画面」、右画面を「副画面」と呼びます。

- 2画面を終了すると、主画面のチャンネルが表示されます。

主画面、副画面に映せる映像および音声は、次の通りです。

	主画面(左)	副画面(右)
VHF・UHF放送	同じチャンネルは選択できません。	
BS放送	どちらか一方の画面にだけ表示できます。	
ワイドクリアビジョン	○ (映せる)	○ (映せる)
2重音声	○ (音声切換可能)	△ (主音声のみ出力)
ステレオ音声	○ (音声切換可能)	△ (モノラルで出力)
ビデオ	同じビデオ入力は選択できません。	
DVDコンポーネント映像入力	2画面での表示はできません。	

便利なマルチ画面

2画面やマルチ画面のオートデモを見るには

2画面やマルチ画面の便利な機能をオートデモで確かめることができます。

1. メニューボタンを押す。
2. △または▽ボタンを押して、各種設定2画面を表示させ、その中の「マルチ画面オートデモ」を選ぶ
3. ▷ボタンを押して「入」に設定する
4. メニューボタンを押す
・オートデモが始まります。
5. オートデモを終了するときには、手順1、2の操作を繰り返し、▷ボタンを押して「切」に設定する

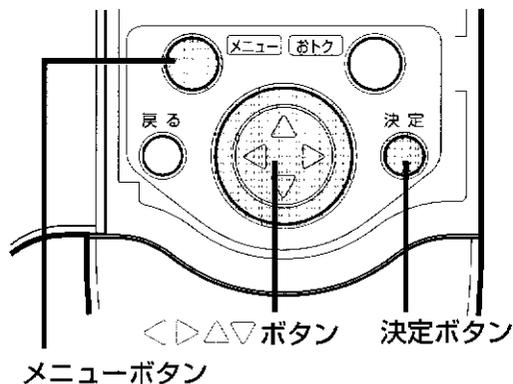
* 1:

マルチチャンネル目次画面の画面表示数はチャンネル数に合わせて変化します。

チャンネルスキップを「しない」に設定したチャンネルの数によりマルチ画面の表示数は自動的に変わります。チャンネル数が9チャンネル以下のときは9画面表示、12チャンネル以下のときには12画面表示、12チャンネルより多いときには16画面表示になります。



ふたを開けたところ



マルチチャンネル目次画面を表示する

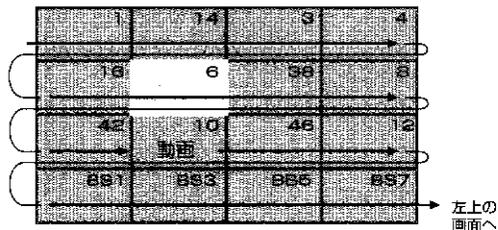
CH目次

全チャンネルをマルチ画面に映します。現在、どのような番組が行われているかを確認するのに便利です。

1. CH目次 CH目次ボタンを押す



- マルチチャンネル目次画面の1ページ目が表示されます。9～16チャンネル分*1の静止画が順次表示されます。

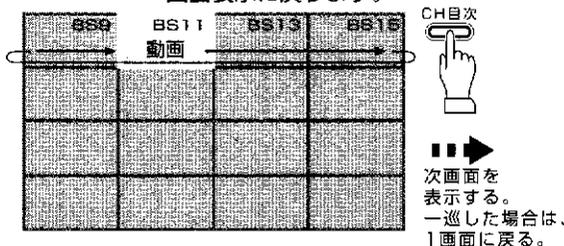


しばらくすると、図の矢印の順番に静止画が更新されていきます。更新中は数秒間動画が表示され、音声も流れます。

2. CH目次 CH目次ボタンを押す



- マルチチャンネル目次画面の次ページが表示されます。押す度に、次のページを表示します。
- すべてのページを表示したあとは1画面表示に戻ります。



- チャンネル番号は数秒後にいったん消え、◀▶△▽ボタンを選ぶときに再び表示されます。チャンネル番号を表示したままにしておきたいときには、画面表示ボタンを何度か押して、常にチャンネルを表示するようにしてください。(P.13)
- チャンネルスキップが設定されているチャンネルは表示されません。(P.32)

マルチチャンネル目次画面から番組を選ぶ

CH目次

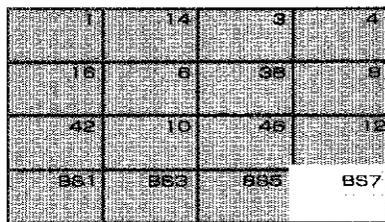
マルチチャンネル目次でそれぞれの番組の映像を見ながら、番組を選局することができます。

- マルチチャンネル目次画面のしかたについては、前ページをご覧ください。

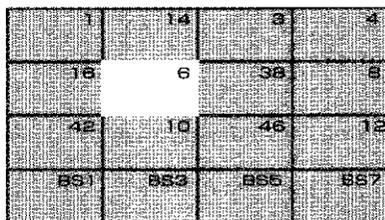
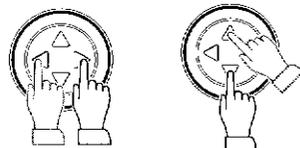
1. CH目次 CH目次ボタンを押す



- マルチチャンネル目次画面が表示されます。



2. ◀△▽ボタンを押して見たい番組を選ぶ



- 選んだ番組が動画になり、音声も流れます。
- マルチチャンネル目次画面を表示中、チャンネルボタンを押して番組を選局することもできます。

3. 決定 ボタンを押す



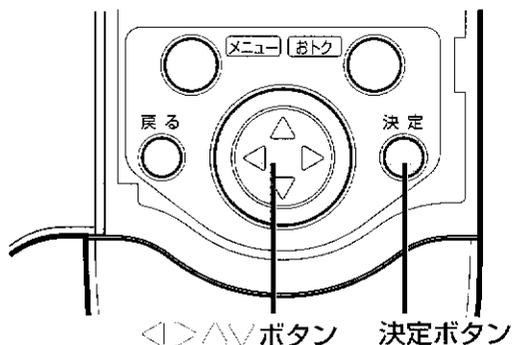
- 選んだ番組が1画面表示されます。

くわしい
使い方

便利なマルチ画面



ふたを開けたところ



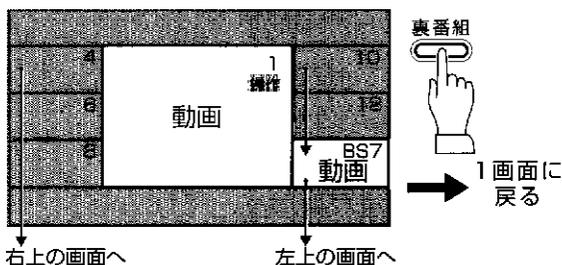
マルチ裏番組サーチ画面を表示する

現在見ているチャンネル（またはビデオ入力）と、6つの裏番組をマルチ画面に映します。

1. 裏番組 裏番組ボタンを押す



●裏番組ボタンを押すと、今まで見ていたチャンネルの動画と、裏番組として設定した6つのチャンネルの静止画が表示されます。裏番組の表示を続けると、図の矢印の順番に静止画が更新されていきます更新中は、数秒間動画が表示されます。



- マルチ裏番組サーチ画面を終了するときは、もう一度裏番組ボタンを押します。
- マルチ裏番組サーチ画面に表示するチャンネルは、自分で登録できます。(次ページ)
- チャンネル番号は数秒後にいったん消え、◀▶△▽ボタンで番組を選ぶときに再び表示されます。チャンネル番号を表示したままにしておきたいときには、画面表示ボタンを押して「チャンネル表示」にしてください。(P.13)
- 裏番組側に「操作」表示を移動すると、番組サーチは一時停止します。裏番組サーチを再開したいときは、表番組(画面中央に映っている番組)に「操作」表示を移動してください。

マルチ裏番組サーチ画面からチャンネルを選ぶ

裏番組

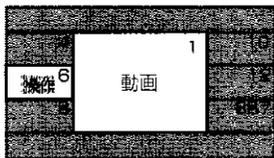
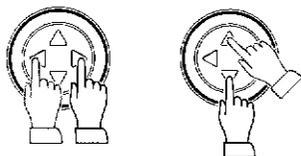
現在見ている番組以外に、裏番組を6つ表示することができ、6つの裏番組の映像を確認しながら、番組の選局をすることができます。

1. 裏番組ボタンを押す

- マルチ裏番組サーチ画面が表示されます。



2. ◀▶△▽ボタンを押して見たい裏番組を選ぶ



- 選んだ番組が動画になり、音声流れます。

3. 決定ボタンを押す



- 選んだ番組が1画面表示されます。

マルチ裏番組サーチ画面にチャンネルを登録する

裏番組

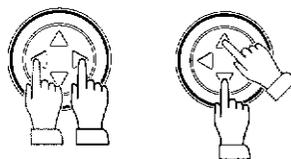
マルチ裏番組サーチ画面のときに表示する裏番組は、任意に変更することができます。

1. 裏番組ボタンを押す

- マルチ裏番組サーチ画面が表示されます。

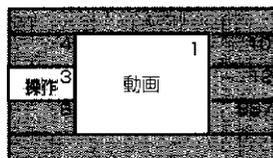


2. ◀▶△▽ボタンを押して変更したい画面に「操作」を表示させる



3. 登録したいチャンネルを選ぶ

- チャンネルボタンを押します。



くわしい
使い方

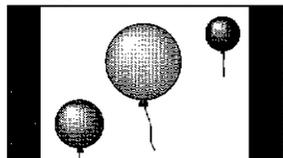
画面サイズを選ぶ

画面サイズの種類について

本機では、次の画面サイズで映像をお楽しみいただけます

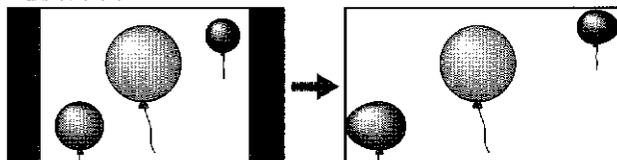
ノーマル (テレビ番組をオリジナルのサイズ映す)

従来のテレビの映像は、横と縦の比率が4:3となっています。この映像を、オリジナルのサイズで映します。左右に黒帯が残ります。



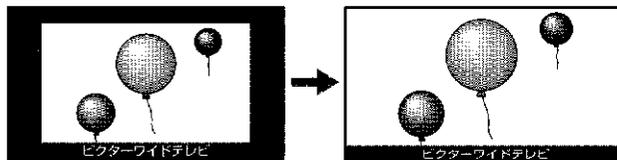
パノラマ (テレビ番組を画面いっぱいに拡大する)

従来のテレビの映像(4:3)を、不自然に見えないように横長の画面いっぱいに拡大します。



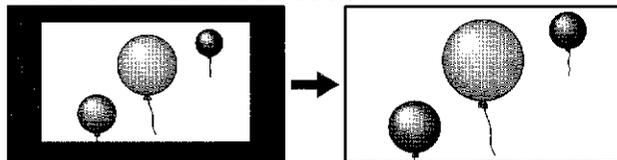
字幕パノラマ (字幕入りの映画番組を見る)

下側に字幕の入った映画番組の字幕部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



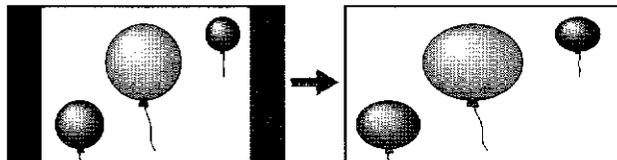
シネマ (映画番組を見る)

劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒帯が見えないように拡大します。映像によっては黒帯が残ることがあります。



フル (ゲームをする/ハイビジョン番組を見る)

テレビゲームの映像をそのまま横に拡大します。ハイビジョン放送の映像をそのまま画面いっぱいに映します。



画面サイズのご利用について

ワイド画像でない従来(通常)の4:3の映像をパノラマ、字幕パノラマ、シネマサイズでご覧になると、周辺画像の一部が見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

映像の見え方について

このテレビは各種の画面サイズ選択機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。

著作権の侵害について

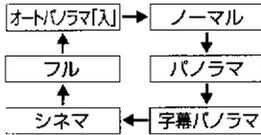
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

ノーマルサイズでのご使用について

長期間ノーマルサイズの状態にし、非常に明るい映像でご覧になっていると、焼きつきが発生する場合があります。通常は、焼きつきは起こりませんが、もし、焼きつきが起こった場合はワイドサイズの映像でしばらくご覧になると焼きつきの症状がしだいに無くなります。

画面サイズを選ぶ

画面サイズ選択 オートパノラマ



画面サイズを自動的に選択するとき

オートパノラマ「入」を選びます。

「パノラマ（ノーマル）」、「字幕パノラマ」「シネマ」の中から最適な画面サイズが選ばれます。

- オートパノラマ「入」、4:3の映像をパノラマサイズで表示させたい場合は42ページをご覧ください。

オートパノラマ中は

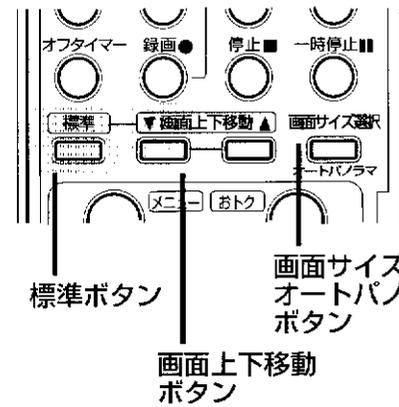
オートパノラマ機能が自動的に最適な画面サイズに切り換えています。そのため、場面が変わったときなどに画面サイズが大きく変わり、不自然に見えることがあります。故障ではありません。

- 黒帯のある映画番組や暗い映像では、判別のために数秒間かかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、オートパノラマ「入」以外を選び画面サイズを固定してください。

ワイドクリアビジョン放送を受信すると画面に「ワイドED」と表示され、画面サイズはシネマに切り換わります。

- 受信状態が悪いときは正常に動作しないことがあります。

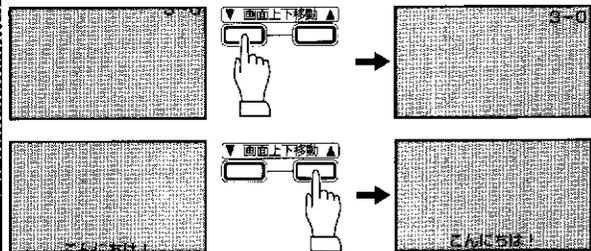
ふたを開けたところ



字幕やスコアが画面からはみ出すとき

画面上下移動

ワイド画像でご覧になっているときに、画面から字幕やスコアなどがはみ出してしまう場合、画面位置を調節することができます。

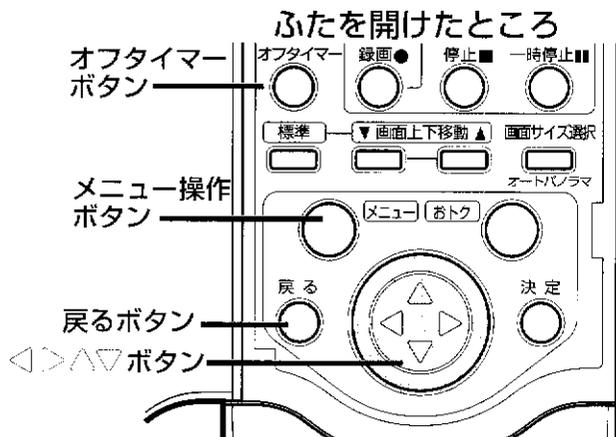


- ノーマルサイズでご覧になっているときは、画面上下移動はできません。
- 画面サイズを切り換えると、画面上下移動の設定は解除されます。
- 画面位置を標準位置へ戻すときは、標準ボタンを押します。



くわしい
使い方

タイマー機能を使う



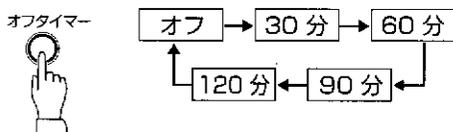
注意

24ページから27ページのオンタイマー設定(あるいは番組予約)をしたときは、必ずリモコンの電源ボタンでテレビの電源を切ってください。テレビ本体の電源ボタンでテレビの電源を切るとオンタイマー機能は働かせません。

設定した時間が終わると自動的にテレビを消す

オフタイマー

テレビを見ていて、寝てしまいそうなどきなどに設定しておくことで消し忘れを防げます。



設定した時間の3分前になると残り時間が表示されます。

設定時間を変更するには

再度、オフタイマーボタンを押して、時間を設定しなおします。

キャンセルするには

再度、オフタイマーボタンを押して「オフ」を選びます。

テレビを目覚ましにする

メニュー「おはようタイマー設定」

設定した時刻になると自動的にテレビの電源が入ります。

●おはようタイマー設定をするには、時計合わせの設定が必要です(P.46)。

1. メニューを表示する



【お願い】はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. タイマー設定画面の「おはようタイマー設定へ」を選ぶ



【ヒント】タイマー設定画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. 決定ボタンを押す



一週間以内に放送される 番組をオンタイマー予約する

メニュー「時計のタイマー設定」

一週間以内に放送されるテレビ番組を、あらかじめ4つまでタイマー予約することができます。

- 番組予約設定をするには、時計合わせの設定が必要です (P.46)。
- 予約できる番組数は、次ページの「来週番組予約」と合わせて4番組までです。

1. メニューを表示する



【お願い】はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. タイマー設定画面の「番組予約タイマー設定へ」を選ぶ



【ヒント】タイマー設定画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. ボタンを押す



4. 設定する

- △ または ▽ で項目を選び
- < または ▷ で設定を変える

曜日 : 予約する番組が放送される曜日を設定します。

開始時刻 : 番組の開始時刻を設定します。

チャンネル : 番組のチャンネルを設定します。

5. 予約する

▽で「予約」を選び ▷で予約する「番組予約を登録しました」と表示されます。

4. 設定を「入」にする

- △ または ▽ で項目を選び
- < または ▷ で設定を変える

時刻 : 毎日テレビに電源を入れる時刻を設定します。

チャンネル : 電源が入ったときに表示させるチャンネルを指定します。

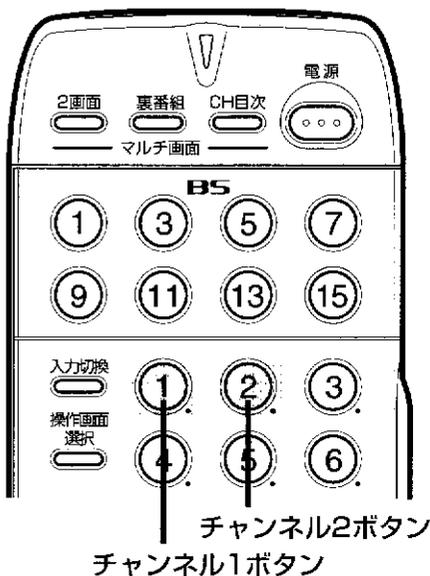
おはようタイマー : タイマーを動作させるため「入」にします。動作させないときは「切」を選びます。

5. 設定を登録する

▽で「登録」を選び ▷で登録する「おはようタイマーを登録しました」と表示されます。

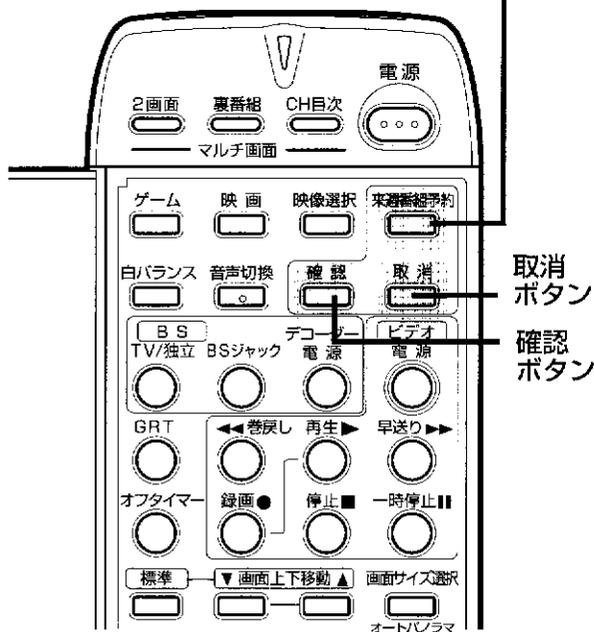
- おはようタイマー「入」の状態に登録をすると本体前面のオンタイマーランプが点灯し、おはようタイマーが動作中になったことを知らせます。
- 既に電源が入っているときにおはようタイマーが動作するとチャンネル切替のみ行われます。

タイマー機能を使う(つづき)



ふたを開けたところ

来週番組予約ボタン



今見ている番組を 来週も見逃したくない

来週番組予約

番組を見ているとき、「来週も見たい、見逃したくない」と思ったとき簡単に番組をタイマー予約することができます。

- 来週番組予約をするには、時計合わせの設定が必要です (P.46)。
- 予約できる番組数は、前ページの「番組予約タイマー設定」と合わせて4番組までです。

1. 予約したい番組中に「来週番組予約」ボタンを押す

来週番組予約



2. 予約時刻を確認する

予約時刻を変えたいときは、リモコンのチャンネル2ボタンを押し、別の候補を表示させます。

- 予約時刻の候補は、曜日や時間帯により1つ~3つ用意されています。詳しくは、次ページの表をご覧ください。

3. リモコンのチャンネル1ボタンを押す



「番組予約を登録しました」と表示されます。

- タイマー予約 (おはようタイマー、番組予約、来週番組予約) されると、本体前面のオンタイマーランプが点灯します。
- 既に電源が入っているときに来週番組予約が動作すると、チャンネル切替のみ行われます。
- 本日、予約が入っているときは、電源を入れてから約15秒経過すると「本日番組予約があります」と表示されます。また、動作3分前になると⌚マークが表示され、まもなくタイマーが動作することを知らせます。

月曜日～土曜日

現在時刻	設定時刻データ1	設定時刻データ2	設定時刻データ3
午前 0時	午前 0時 00分		
午前 1時	午前 1時 00分		
午前 2時	午前 2時 00分		
午前 3時	午前 3時 00分		
午前 4時	午前 4時 00分		
午前 5時	午前 5時 00分		
午前 6時	午前 6時 00分	午前 6時 30分	
午前 7時	午前 7時 00分	午前 7時 30分	
午前 8時	午前 8時 00分	午前 8時 30分	
午前 9時	午前 9時 00分	午前 9時 30分	
午前 10時	午前 10時 00分	午前 10時 30分	
午前 11時	午前 11時 00分	午前 11時 30分	
午後 0時	午後 0時 00分	午後 0時 30分	
午後 1時	午後 1時 00分	午後 0時 00分	午後 1時 30分
午後 2時	午後 2時 00分	午後 1時 00分	午後 2時 30分
午後 3時	午後 3時 00分	午後 2時 00分	午後 3時 30分
午後 4時	午後 4時 00分	午後 3時 00分	午後 4時 30分
午後 5時	午後 5時 00分	午後 5時 30分	午後 4時 30分
午後 6時	午後 6時 00分	午後 6時 30分	
午後 7時	午後 7時 00分	午後 7時 30分	
午後 8時	午後 8時 00分	午後 7時 00分	午後 7時 30分
午後 9時	午後 9時 00分	午後 9時 30分	
午後 10時	午後 10時 00分	午後 9時 00分	午後 10時 30分
午後 11時	午後 11時 00分	午後 11時 30分	

日曜日

現在時刻	設定時刻データ1	設定時刻データ2	設定時刻データ3
午前 0時	午前 0時 00分	午後 11時 00分	
午前 1時	午前 1時 00分		
午前 2時	午前 2時 00分		
午前 3時	午前 3時 00分		
午前 4時	午前 4時 00分		
午前 5時	午前 5時 00分		
午前 6時	午前 6時 00分	午前 6時 30分	
午前 7時	午前 7時 00分	午前 7時 30分	
午前 8時	午前 8時 00分	午前 8時 30分	
午前 9時	午前 9時 00分	午前 9時 30分	午前 8時 00分
午前 10時	午前 10時 00分	午前 10時 30分	
午前 11時	午前 11時 00分	午前 11時 30分	午前 10時 00分
午後 0時	午後 0時 00分	午後 0時 30分	
午後 1時	午後 1時 00分	午後 1時 30分	
午後 2時	午後 2時 00分	午後 1時 00分	午後 0時 00分
午後 3時	午後 3時 00分	午後 2時 00分	
午後 4時	午後 4時 00分	午後 3時 00分	
午後 5時	午後 5時 00分	午後 4時 00分	午後 5時 30分
午後 6時	午後 6時 00分	午後 6時 30分	
午後 7時	午後 7時 00分	午後 7時 30分	
午後 8時	午後 8時 00分	午後 7時 00分	
午後 9時	午後 9時 00分		
午後 10時	午後 10時 00分	午後 10時 30分	午後 9時 00分
午後 11時	午後 11時 00分	午後 11時 30分	午後 9時 30分

タイマー予約の確認 取り消し・変更をする

番組予約確認

来週番組予約と番組予約タイマーで予約した内容の確認、取り消し、変更ができます。

1. 確認



確認ボタンを押す

画面に予約した番組の曜日、開始時刻、チャンネルが表示されます。



2. 確認



番組内容を確認する

予約の変更や取り消しが無い場合は、もう一度、確認ボタンを押して終了する。

予約を取り消したい

1. △▽ ボタンで消したい予約を選ぶ
2. リモコンの取消ボタンを押す

予約を変更したい

1. △▽ ボタンで変更したい予約を選ぶ
2. ▷ ボタンを押す
・番組予約タイマー設定画面が現れます。

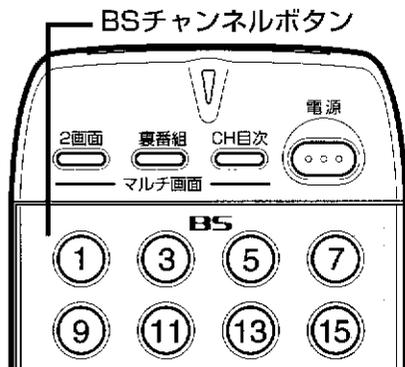


3. △▽ ボタンで変更したい項目に合わせる
4. ◀ ▶ ボタンで変更する
5. ▽ ボタンで「予約」を選び、▶ ボタンで予約する
「番組予約を登録しました」と表示されます。

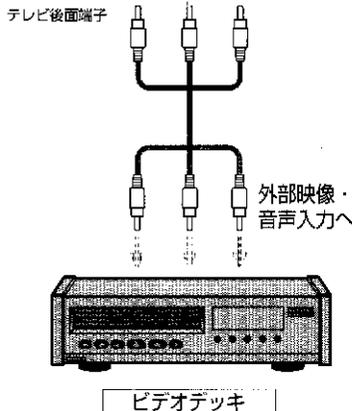
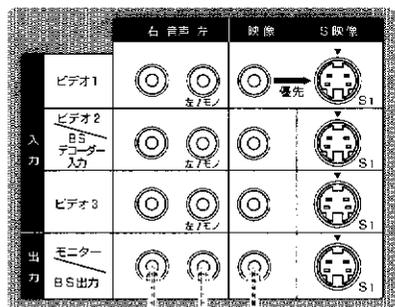
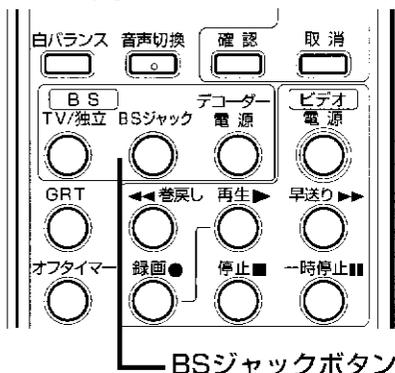
くわしい
使い方

BS機能のないビデオでBSを録画する

BSジャック

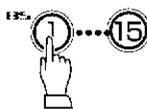


ふたを開けたところ



本機のBSチューナーを利用して、BS機能の無いビデオデッキでBSチャンネルを録画するときには使用します。

1. 録画したいBSチャンネルを選ぶ



必要に応じて音声切換 (P.13) やTV / 独立音声切換 (P.15) を行います。(BSデコーダーやMUSE-NTSCコンバーターの音声はそれぞれの機器で選びます。)

2. BSジャックボタン押し、設定を「入」にする



・押すたびに「入」と「切」が切り換わります。

「入」: BSチャンネルが固定され、モニター出力からは選んだBSチャンネルの映像と音声が出力されます。BSジャック中はテレビ前面のBSジャックランプが赤く点灯します。

●設定を「入」にしたとき、S映像端子からは映像信号は出力されません。

「切」: BSジャックは解除され、モニター出力端子からは現在ご覧になっている映像と音声が出力されます。

3. ビデオデッキで録画をする

- ・ビデオデッキの入力を「外部」に切り換えます。
- ・録画したい番組が始まりましたら、録画ボタンを押します。(ビデオデッキ側の操作については、ビデオデッキの取扱説明書をお読みください。)

4. 録画中に他の番組を見たいときは、チャンネルボタンを押します。(裏番組録画)

・BS以外であれば録画中でもご覧になれます。

5. 録画が終わったら、「BSジャック」の設定を「切」に戻す

・BSジャックが解除され、テレビ前面のBSジャックランプが消えます。

注意

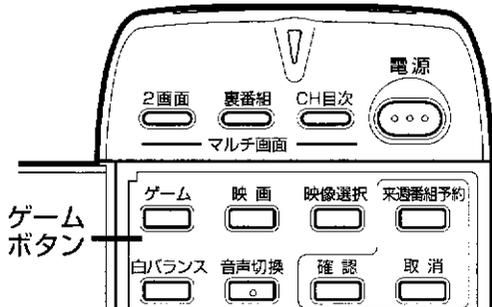
- BSジャック中は、他のBSチャンネルは選局できません。
- BSジャック中は、本体側の電源ボタンで、テレビの電源は切らないでください。電源を切るとモニター出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出られなくなります。

ゲーム機をつないで遊ぶ

ゲーム

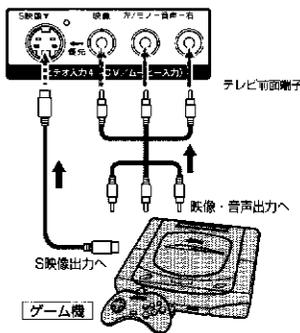
ゲームボタンを押すだけで、「映像選択」「ビデオ入力」「画面サイズ」を一度に切り換えることができます。

ふたを開けたところ



1. ゲーム機をビデオ4につなぐ

●ゲーム機の取扱説明書も合わせてお読みください。



2. ゲームボタンを押す

映像選択は「ゲーム」、画面サイズは「フル」、ビデオ入力は「ビデオ4」が選択されます。

ゲームボタン	入
映像選択	ゲーム
画面サイズ	フル

3. ゲーム機の電源を入れる

4. ゲームをして遊ぶ

5. ゲームを楽しんだあとは、ゲームボタンを押して、ゲームボタン「切」にするもとのチャンネル(あるいはビデオ入力)に戻ります。

●ゲームボタンを押すと、10時00分や11時00分など正時になると現在時刻を点滅表示します。遊びすぎ防止にお役に立てください。

(「時計合わせ」(P.46) をしておく必要があります。)

●ビデオ入力4以外にゲーム機を接続するときは、メニューの「ゲーム入力設定」で切換先を変更することができます。(右の説明をご覧ください。)

ゲームボタンを押したときに切り換わるビデオ入力を覚えるには

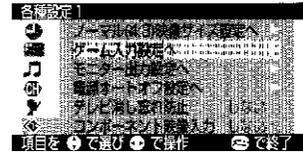
ゲームボタンを押すと、ここで設定したビデオ入力に連動して切り換わるようになります。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 各種設定1画面の「ゲーム入力設定へ」を選ぶ



【ヒント】 各種設定1画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. ボタンを押す



4. または ボタンを押し、設定を変更する



ビデオ4 : ゲームボタンを押したときビデオ4に切り換わります。
 ビデオ3 : ゲームボタンを押したときビデオ3に切り換わります。
 ビデオ2 : ゲームボタンを押したときビデオ2に切り換わります。
 ビデオ1 : ゲームボタンを押したときビデオ1に切り換わります。
 設定しない : ゲームボタンを押したとき入力切換は行われません。

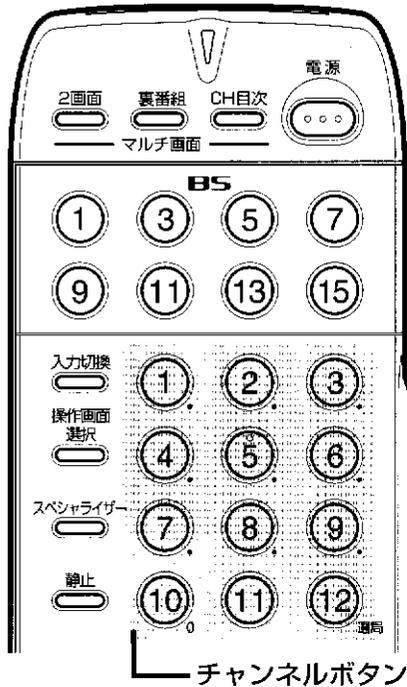
5. メニューを終了する



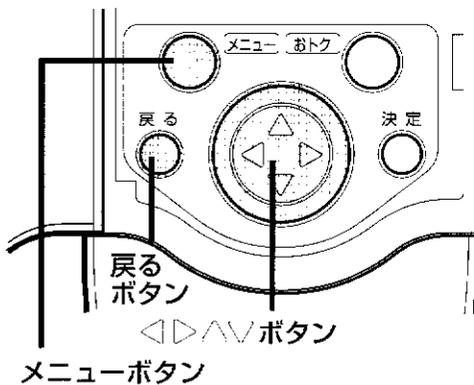
●BSデコーダーを本機につないでいるときは「ビデオ2」は選択できません(P.35)。

くわ
いし
方し

チャンネル合わせ



ふたを開けたところ



工場出荷時の設定に戻すには
地域チャンネル設定を工場出荷時の状態に戻すときは、手順6で地域番号を000に設定してください。

チャンネル合わせをする

メニュー 「地域チャンネル設定」

地域番号を指定するだけで、簡単にしかも一括してチャンネル合わせを行えます。

●地域番号については、別冊の共通取扱説明書をご覧ください。

1. 地域番号を調べる

お住まいの地域に近い地域番号を探します。

●このとき受信したい放送局が、最も多く割り振られている地域番号を選んでください。

2. チャンネルボタンを押す



・TVモードにするための操作です。VHFかUHFのチャンネルを選んでください。

3. メニューを表示する



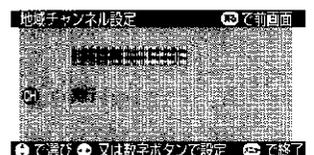
【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

4. チャンネル設定画面の「地域チャンネル設定へ」を選ぶ



【ヒント】 チャンネル設定画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

5. <><><><> ボタンを押す



(右上へつづく)

6. 地域番号を入力する

手順1で調べた地域番号が表示されるまで押し続けます。



●チャンネルボタン1から10を押して地域番号を設定することもできます。

- ・10ボタンは数字の「0」として使います。
- ・(例) 23区 (042) を設定するとき→0ボタン・4ボタン・2ボタンを押す。

7. ▽ボタンを押し「実行」に合わせる



8. ▷ボタンを押す

受信チャンネルが設定され、設定結果が表示されます。



リモコン	受信	表示	リモコン	受信	表示
1	CH 7	7	7	CH 38	7
2	CH 14	2	8	CH 8	8
3	CH 3	3	9	CH 42	9
4	CH 4	4	10	CH 10	10
5	CH 16	5	11	CH 46	11
6	CH 6	6	12	CH 12	12

項目を ◀ で選び ▶ で受信を変更 ◻ で前画面 ◻ で終了

●設定した受信チャンネルを他のチャンネルに変更したいときは、設定結果表示中に右の操作をしてください。

9. ✕メニュー メニューを終了する



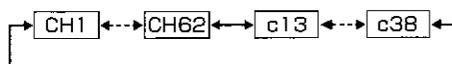
登録した受信チャンネルを変更するには

1. 変更したい受信チャンネルを選ぶ



2. 受信チャンネルを変更する

・目的のチャンネルが表示されるまで送り続けます。



3. ✕メニュー メニューを終了する

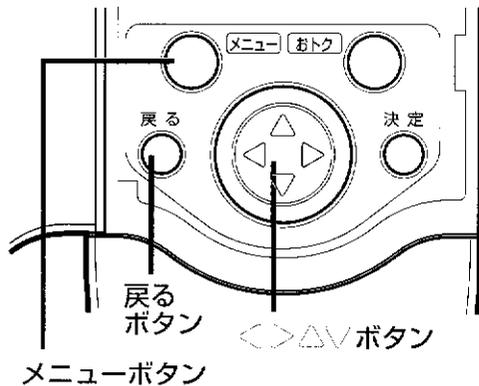


●受信チャンネルが「-----」の表示になっているチャンネルはここでは変更できません。36ページのチャンネル編集で受信チャンネルを追加登録してください。

設定

チャンネル合わせ(つづき)

ふたを開けたところ



チャンネル合わせした内容を編集するには

チャンネル合わせした内容を変更したり、ひとつずつチャンネル合わせを行うときに使います。チャンネル編集では、次の編集が行えます。

- 受信チャンネルの追加、変更
- 画面に表示するチャンネル番号の変更
- 受信状態が悪いときに、きれいに映すために微調整する「ファイン調整」
- チャンネル+/-ボタンを押したときに、スキップさせるかを決める「スキップ設定」
- 電波の反射によって2、3重に見える映像を補正する「ゴースト低減設定」

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. チャンネル設定画面の「チャンネル編集へ」を選ぶ



【ヒント】 チャンネル設定画面が表示されていないときは△または▽を押して続けて表示させます。(5、7ページ)

(右上につづく)

3. ボタンを押す



チャンネル編集		◻ で前画面
リモコンボタン	8	
受信チャンネル	CH 8	
ファイン調整	00	
表示	8	
スキップ	しない	
ゴースト低減	入	
項目を ◻ で選び ◻ で操作		◻ で終了

4. ◀ または ▶ ボタンを押し 編集したいリモコンボタンの番号を選ぶ



5. チャンネル編集を行う

- △ または ▽ で項目を選び
- ◀ または ▶ で設定を変える

受信チャンネル : 受信したいチャンネルの番号を表示させます。

ファイン調整 : 受信状態が悪いときに微調整してください。最も映像が綺麗に映るように調整します。

表示 : 画面に表示するチャンネル番号を選びます。

スキップ : チャンネル+/-ボタンを押したときにスキップするかどうかを決めます。放送を受信していない場合は、「スキップする」に設定します。

ゴースト低減 : 電波が反射して映像が2重、3重に見える場合は、「入」に設定します。また、ビデオデッキの出力をテレビのアンテナ入力端子につないで見ているときは、「切」にしてください。

●BSチャンネルの編集は、スキップ設定のみ行えます。

6. 他のリモコンボタンの内容を編集したいときには手順4,5を繰り返します。

7. ◻ ボタンを押してメニューを終了する

CATV(ケーブルテレビ)を見るときは

CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV会社にご相談ください。

CATVを見るための準備

- CATV会社と受信契約をする
- CATVケーブルを接続する
- CATVのチャンネル合わせをする

CATVのチャンネル合わせをするには

リモコンのチャンネルボタン1から12に、空きがあるときにCATVのチャンネル合わせを行います。

前ページの「チャンネル編集」のなかで、CATVチャンネルを登録します。

手順5のときに受信したいCATVチャンネルを選んでください。

CATVのチャンネル数が多く、リモコンのチャンネルボタンにCATVチャンネルを登録することができないとき

CATVチャンネルを直接選局できるように設定できます。

設定方法については、右の説明をご覧ください。

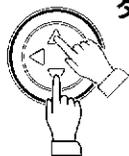
CATVチャンネルを直接選べるようにする

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. チャンネル設定画面の「CATVダイレクト」を選ぶ



【ヒント】 チャンネル設定画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. 設定を「入」にする



「入」: CATVチャンネルが直接選局できるようになります。

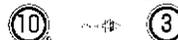
「切」: チャンネル合わせをしないと選局できません。

4. メニューを終了する

CATVダイレクトの設定を「入」にしたときのチャンネルの選び方

2桁でチャンネル番号を選びます。

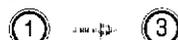
例1: チャンネル3を選局するには



例2: チャンネル12を選局するには



例3: CATVのチャンネル13を選局するには



1桁のチャンネルを選局するとき、以下の方法でも選局することができます。

例1: ③を押して少し待つ

例2: ③を押して⑫(選局)を押す

BSアンテナ(コンバーター)への電源供給の設定をする

メニュー 「BSアンテナ電源」

BSアンテナ設置時の設定です。

BSアンテナ(コンバーター)へ本機から電源を供給するかどうかを設定します。

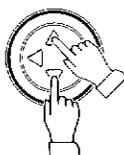
1. ^{BS} BSチャンネルを選ぶ



2. ^{メニュー} メニューを表示する



3. BS設定画面の「BSアンテナ電源」を選ぶ



4. 設定をする



押す度に「入(連動)」と「切」が切り換わります。

入(連動) : 本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給するとき

切 : 本機から電源を供給しないとき

●共聴アンテナの場合や他のBS機器から電源を供給するときは「切」にします。

5. ^{メニュー} メニューを終了する



●共聴アンテナなど、他の機器から電源を供給しているときに、BSアンテナ電源を「入(連動)」にすると

「BSアンテナ電源を確認下さい」と表示されます。このメッセージが表示されたときには、設定を「切」にしてください。また、設定を「切」にしたときにBSが映らなくなる場合は、BSアンテナやケーブル類、コネクター部の劣化によるショートが考えられます。販売店に確認してください。

ビデオ2入力端子の設定をする

メニュー 「BSデコーダー入力設定」

テレビ後面のビデオ2入力端子は、BSデコーダー入力端子と兼用になっています。

接続機器によりどちらの使い方をするかを設定する必要があります。

1. ^{メニュー} メニューを表示する



2. BS設定画面の「BSデコーダ入力設定へ」を選ぶ



3. ▶ ボタンを押す



4. 設定をする



使用する「オート」 : ビデオ2入力端子にBSデコーダーやMUSE-NTSCコンバーターを接続するとき

使用する「強制」 : 将来、衛星を利用した新方式の放送を受信するとき

使用しない「ビデオ2」 : ビデオ2入力端子にビデオ機器を接続するとき

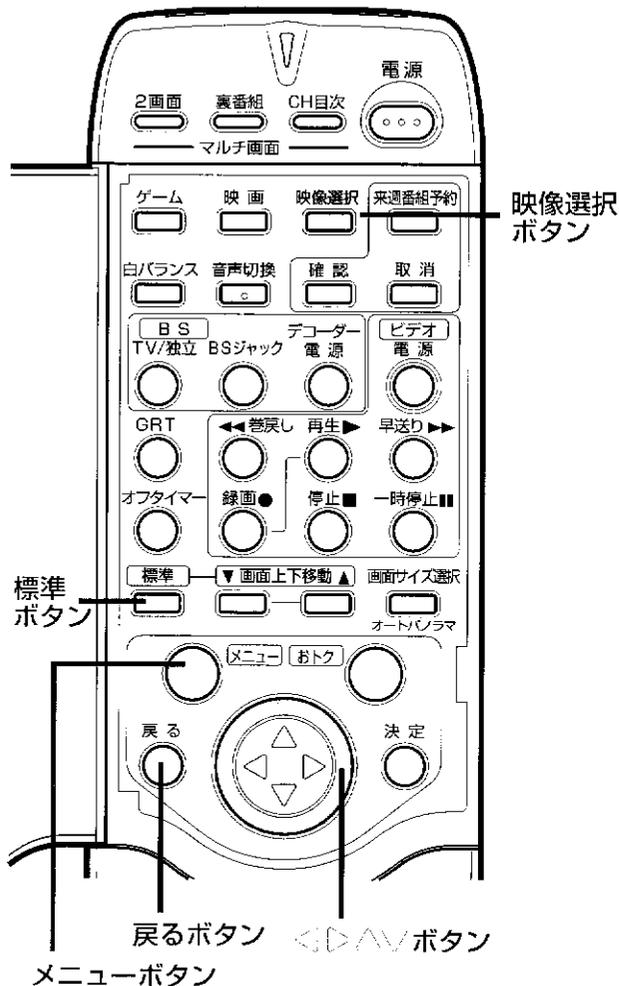
5. ^{メニュー} メニューを終了する



●BSジャック中はBSデコーダー入力設定はできません。

映像調節

ふたを開けたところ



映像設定値を工場出荷状態に戻すには
 手順4のときに標準ボタンを押すと工場出荷状態の映像設定値に戻ります。

お好みの映像に調節する

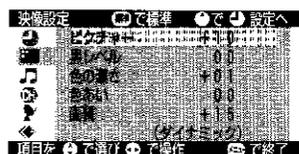
「ダイナミック」「スタンダード」「シアター」「ゲーム」の映像設定をお好みにあわせて調節できます。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 映像設定画面を表示する



【ヒント】 映像設定画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. 調節したい映像設定を選ぶ



4. 調節したい項目を選ぶ



(次ページにつづく)

5. 好みの状態に調節する



色の濃さ

◀で操作 ▶で前画面 ⏏で終了

設定項目	◀	▶	調節の目安
ピクチャー	暗く・淡く	明るく・濃く	明るさ・色の濃さを大まかに決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
色の濃さ	淡く	濃く	交互に調節して
色あい	赤っぽく	緑っぽく	健康的な肌色に
画質	やわらか	くっきり	好みのりんかくに

- △ ▽ ボタンあるいは「戻る」ボタンを押すと手順4の画面に戻ります。繰り返し、別の項目の調整をしてください。

6. 他の映像設定を調節するときには手順3～5を繰り返す

7. Xボタン メニューを終了する



お好みの色調を選ぶ

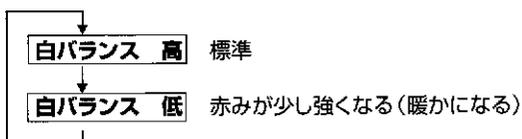
白バランス

画面全体の色調を選ぶことができます。

1. 白バランス ボタンを押す



- 押す度に、「高」と「低」が切り替わります。

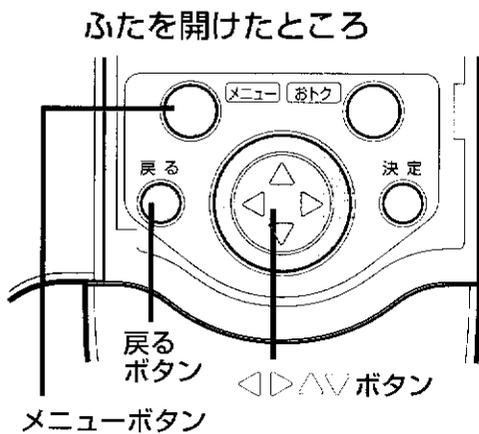


- 映像選択で「シアター」を選択しているときは「シアター高」と「シアター低」から選択できます。

シアター低：シアターのとき赤みが少し強くなる

シアター高：シアターのときの標準

音声調節



音質を調節する

1. メニューを表示する

【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 音声設定画面を表示する



【ヒント】 音声設定画面が表示されていないときは
△または▽を押し続けて表示させます。
(5、7ページ)

3. 調節したい音声設定の項目を選ぶ



4. 好みの状態に調節する



調節項目	◀	▶
低音	低音を弱める	低音を強める
高音	高音を弱める	高音を強める
バランス	左の音を大きく	右の音を大きく

●手順3、4を繰り返して必要な項目をすべて調節します。

5. メニューを終了する



(右上につづく)

節電設定

節電機能の種類

本機には、以下の節電機能が用意されています。これらの節電機能を組み合わせて効率よく節電してください。

BS 電源オートオフ機能：

BS チャンネルを見ていないときにBS ジャックを「入」にしていないときに、BS 回路部の電源やBS コンバーターへの電源供給を自動的に切って節電します。

無信号電源オートオフ機能：

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。

深夜電源オートオフ機能：

深夜のテレビの消し忘れを防ぐ機能です。設定した時間になると電源を自動的に切って節電します。

(この機能を使うには、本機の時計合わせが必要です。)

テレビ消し忘れ防止機能：

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。約3時間何も操作しなかったときに電源を切って節電します。

E.E. センサー機能機能：

Ecology & Economy (目にやさしい消費電力) + Electronic Eye (電子の目) の略です。部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。

おトク機能：

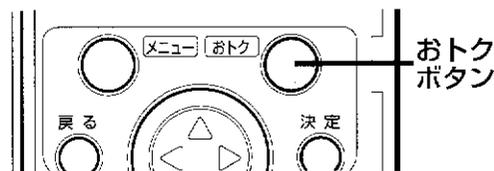
以下の3つの節電機能については、おトクボタンを使って簡単に設定することができます。本書では、この3つの節電機能のことを「おトク機能」と呼んでいます。おトクボタンを使った設定については、右の「節電する」をご覧ください。

- BS 電源オートオフ
- 無信号電源オートオフ
- 深夜電源オートオフ

安心オートオフ機能：

24ページから26ページのオンタイマー機能を使ってテレビの電源を入れた場合、2時間何もしないでほおっておくと、誰もテレビを見ていないと判断し、自動的にテレビの電源を切ります。

ふたを開けたところ

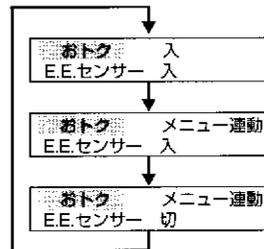


節電する

おトク

おトクボタンを使って簡単に節電設定ができます。

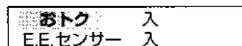
おトク



・押す度に設定の表示が切り換わります。

3つの節電機能(おトク機能)をまとめて「入」にする

おトクボタンを何度か押しおトク設定を「入」にします。



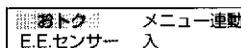
設定すると、3つの節電機能(おトク機能)とE.E.センサー機能が動作するようになります。

おトク機能のひとつ「深夜電源オートオフ機能」の動作時間は、次ページで設定しない限り、午前2時に動作します。

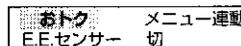
動作時間を変更する場合は、次ページをお読みになり設定してください。

節電設定をお好みに設定したいときには

おトク設定を「メニュー連動」にすることで個別に設定することができます。個別の設定は、次ページをご覧ください。



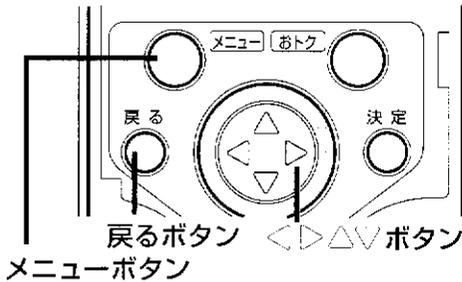
：E.E.センサー機能を動作させるとき



：E.E.センサー機能を動作させないとき

節電設定(つづき)

ふたを開けたところ



おトク機能を個別に設定するには

メニュー「電源オートオフ機能」

前ページ (39ページ) でおトク設定を「メニュー連動」にしたとき3つの電源オートオフ機能(おトク機能)を個別に設定してください。

1. メニューを表示する



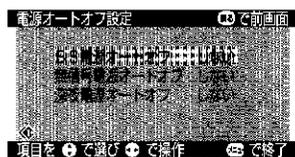
【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 各種設定1画面の「電源オートオフ設定へ」を選ぶ



【ヒント】 各種設定1画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. 設定画面を表示する



(右上につづく)

おトク設定を「入」にしたとき

前ページ (39ページ) でおトク設定を「入」にした場合でも、深夜電源オートオフ機能は任意に動作時刻を設定することができます。おトク設定を「入」にしたときの深夜電源オートオフの動作は次のようになります。

- 午前0時：午前0時に動作します。
- 午前1時：午前1時に動作します。
- 午前2時：午前2時に動作します。
- しない：午前2時に動作します。

また、BS電源オートオフ機能と無信号電源オートオフ機能については、このページでの設定に関係なくおトク設定「入」で強制的に電源オートオフ機能が動作します。

4. 設定をする

△ または ▽ で項目を選び

◀ または ▶ で設定を変える

「BS電源オートオフ」

する：オートオフ機能が動作します。

しない：オートオフ機能は動きません。

「無信号電源オートオフ」

する：オートオフ機能が動作します。

しない：オートオフ機能は動きません。

「深夜電源オートオフ」

午前0時：午前0時に動作します。

午前1時：午前1時に動作します。

午前2時：午前2時に動作します。

しない：動作しません。

5. メニューを終了する



E.E. センサーの効果を確かめるには

メニュー 「E.E. センサー表示」

E.E. センサーを使ったとき、どのように画面の明るさが変わるかを確かめることができます。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 各種設定2画面の「E.E. センサー表示」を選ぶ



【ヒント】 各種設定2画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. 設定を「入」にする



「入」：E.E. センサーの効果を確かめるとき選びます。
部屋の明るさが変化すると♡マークが表示され、E.E. センサーの動作を確認することができます。

● 部屋が暗くなるに従い♡マークがたくさん表示されます。

「切」：E.E. センサーの効果を確かめる必要がないとき選びます。

4. メニューを終了する



テレビの消し忘れを防ぐ

メニュー 「テレビ消し忘れ防止」

約3時間何も操作しなかった場合にテレビの電源を自動的に切るか切らないかの設定をします。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 各種設定1画面の「テレビ消し忘れ防止」を選ぶ



【ヒント】 各種設定1画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. ボタンを押して設定する

する : 約3時間何も操作しない状態が続いたときに、テレビの電源を自動的に切るとき
しない : 電源を切りたくないとき

4. メニューを終了する



画面の設定

オートパンoramaのときに 4:3の映像をノーマルサイズ で表示するには

メニュー「ノーマル(4:3)映像サイズ設定」

オートパンoramaのとき、従来のテレビ番組(画面サイズ4:3)を画面いっぱいに拡大して映すか(パンorama)、そのままのサイズで映すか(ノーマル)を設定します。工場出荷時はパンoramaサイズが選ばれています。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 各種設定1画面の「ノーマル(4:3)映像サイズ設定へ」を選ぶ



【ヒント】 各種設定1画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. ボタンを押す



4. 画面サイズを選ぶ



パンorama : 4:3の画面をいっぱいに広げて映します。
ノーマル : 4:3の映像をオリジナルサイズで映します。

5. メニューを終了する



色むらを補正するには

メニュー「地磁気補正」

注意：地磁気補正は32型、36型のみ機能です。地磁気の影響により、テレビ画面の四隅に色がつくことがあります。このようなときに補正します。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. 各種設定2画面の「地磁気補正へ」を選ぶ



【ヒント】 各種設定2画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. ボタンを押す



.....||.....
●で終了

4. 色むらを補正する



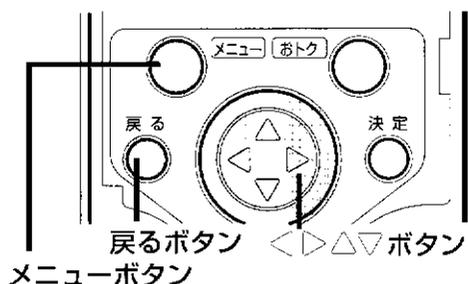
◀または▶を押して画面の四隅についた色が無くなるように補正する

5. メニューを終了する



端子の設定

ふたを開けたところ



コンポーネント映像入力端子を使うための準備

メニュー 「コンポーネント映像入力」

コンポーネント映像入力端子は、ビデオ 3 入力端子と共有しているため、使用する場合には端子の設定が必要になります。コンポーネント映像出力端子を備えた DVD プレーヤーなどを接続するときには設定します。

● DVD プレーヤーの接続のしかたについては 53 ページをご覧ください。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5 ページから 7 ページをお読みください。

2. 各種設定 1 画面の「コンポーネント映像入力」を選ぶ



【ヒント】 各種設定 1 画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7 ページ)

3. ボタンを押して設定する



する : コンポーネント映像入力端子に機器を接続するとき
しない : 本機後面のコンポーネント映像入力端子を使用しないとき

4. メニューを終了する



ビデオ 1 からの信号をモニター出力させるには

メニュー 「モニター出力設定」

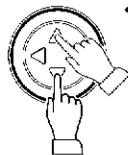
ビデオ 1 に接続した機器の映像・音声を確認しながらダビングしたいときに設定します。

1. メニューを表示する



【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5 ページから 7 ページをお読みください。

2. 各種設定 1 画面の「モニター出力設定へ」を選ぶ



【ヒント】 各種設定 1 画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7 ページ)

3. ボタンを押す

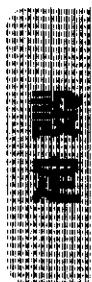


4. 設定を変更する



出力する : ビデオ 1 の信号をモニター出力端子から出力できるようにします。
出力しない : ビデオ 1 の信号は、モニター出力端子から出力できません。

5. メニューを終了する



ゴーストを低減する

ゴーストとは

ビルなどの高い建物や山などがある場合、テレビの電波がビルや山に反射し、その反射した電波をアンテナが受信してしまうことがあります。この反射した電波を受信すると映像が2重3重に映ることがあります。この反射した電波の映像を「ゴースト」といいます。



(例) 人物の後ろにゴーストが映っている

放送局によりゴーストを低減できる場合とできない場合があります。

本機のゴースト低減機能は、放送局から送られてくるGCR(Ghost Cancel Reference)という基準信号をもとにゴースト低減を行なっています。

従って、この信号が送られていない場合は、ゴースト低減はできません。

■GCR信号が送られていない放送局

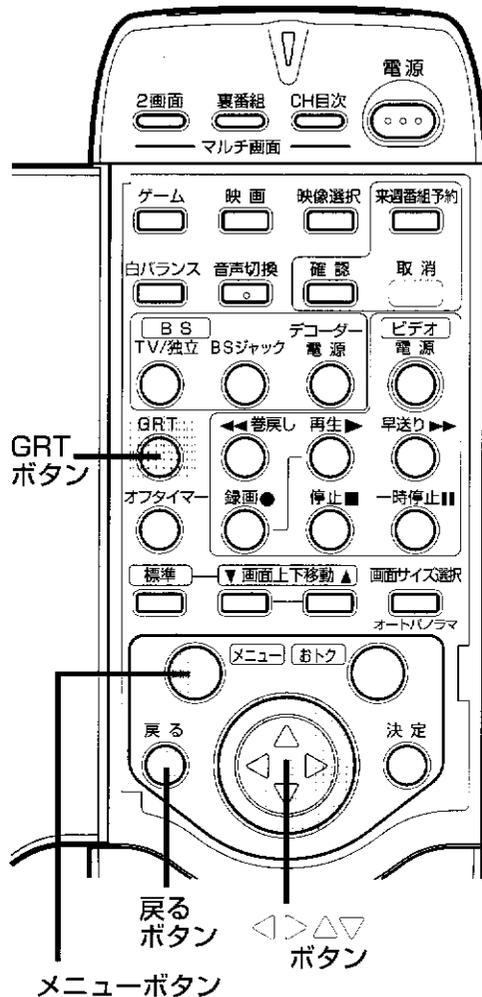
- ・「群馬テレビ」、「琵琶湖放送」、BS放送、CS放送、CATV放送(一部のCATVは除く。CATVについては、ご契約のCATV会社にお問い合わせください。)

(平成10年6月現在)

ご注意

- 次のような場合は、ゴースト低減の効果ができません。
 - ・GCR信号が送られていないとき
 - ・ゴーストが常に変動するとき
 - ・ゴーストの電波が強いとき
 - ・10以上のゴーストがあるとき
 - ・ビデオデッキからの映像のとき
- ゴースト低減を動作させることにより、見苦しい映像になる場合は、ゴースト低減の設定を「切」にしてください。
- チャンネル切換をした直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- アンテナを設置するときには、ゴースト低減の設定を「切」にしてから行ってください。
- 電波が弱いときにゴースト低減機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナの向きは正しく設置しないと、ゴーストが低減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けます。)

ふたを開けたところ



GRT
ボタン

戻る
ボタン

メニュー
ボタン

ゴーストを低減するには

工場出荷時に、すでに各チャンネルごとにゴーストを低減するように設定されています。

また、地域チャンネル設定(P.30)でチャンネル合わせをした場合もゴースト低減するように設定されます。

ゴースト低減機能が動作するタイミング

チャンネルを切り換えたときに、ゴースト低減の動作をします。

●チャンネルを切り換えた直後は、ゴーストを低減するための動作の影響で映像がちらついたり、明るさが変化し、不安定な映像になることがあります。

これは、ゴースト低減の動作をしているためで、処理が終われば、映像は安定し、ゴーストの少ない映像でお楽しみ頂けます。

ゴースト低減後の映像を表示するタイミングを指定する

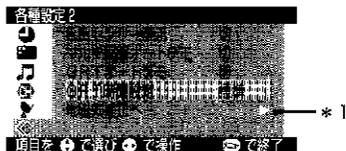
メニュー 「GRT時間設定」

チャンネル切換直後はゴースト低減処理が行われるため映像が不安定になることがあります。この不安定な処理中の映像を画面にリアルタイムに表示させるか、あるいは、ある程度ゴースト低減の処理を終えてから画面に表示させるかを指定することができます。

1. メニューを表示する



2. 各種設定2画面の「GRT時間設定」を選ぶ



*1：地磁気補正は、32型、36型
のみの機能です。

3. ボタンを押して設定をする

押す度に「標準」と「短い」が切り換わります。



標準 : 通常は、「標準」を選んでください。
短い : 「標準」では、ゴースト低減効果が現れるのが遅いと感じる場合や効果を確認しながらテレビをご覧になりたい場合に選んでください。

4. メニューを終了する



テレビを見ながら「ゴースト低減設定」を変更する

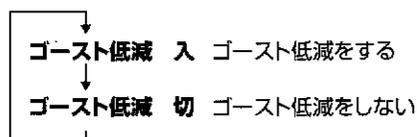
GRT

テレビを見ているときにもゴースト低減設定を簡単に変更することができます。

1. GRT ボタンを押す



押す度にゴースト低減の設定の「入」と「切」が切り換わります。



ゴースト低減のオートデモを見るには

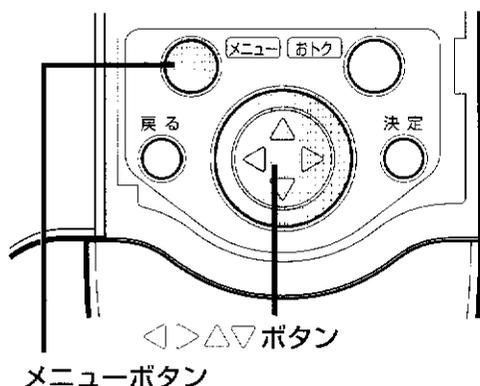
ゴースト低減の効果をオートデモで確認することができます。

1. メニューボタンを押す。
2.  または  ボタンを押して、「各種設定2画面」を表示させ、その中の「GRTオートデモ」を選ぶ
3.  ボタンを押して「入」に設定する
4. メニューボタンを押す
・オートデモが始まります。
5. オートデモを終了するときは、手順1、2の操作を繰り返し、 ボタンを押して「切」に設定する

設定

時計合わせ

ふたを開けたところ



時計合わせをする

メニュー 「時計合わせ」

本機に内蔵している時計の時刻を合わせます。時刻を設定しないとタイマー予約機能が使えません。

●タイマー予約機能には、「おはようタイマー」「番組予約タイマー」「来週番組予約」があります。

1. メニューを表示する



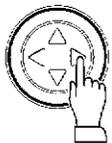
【お願い】 はじめてメニューを操作する場合は、5ページから7ページをお読みください。

2. タイマー設定画面の「時計合わせへ」を選ぶ



【ヒント】 タイマー設定画面が表示されていないときは△または▽を押し続けて表示させます。(5、7ページ)

3. ▶ボタンを押す



4. 時刻を設定する

- △▽ボタンで項目を選び
- <>ボタンで曜日・時・分などを入力する

5. 時計をスタートする

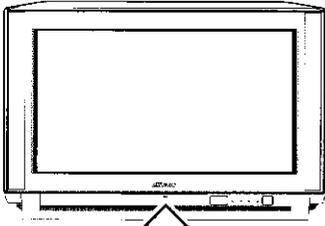
- ▽ボタンで「開始」を選び
- ▶ボタンで時計をスタートさせます。
・画面に時刻が表示されます。

●時刻を表示したままにしたいときは、リモコンの画面表示ボタンを押し「時刻表示」を選んでください (P.13)。

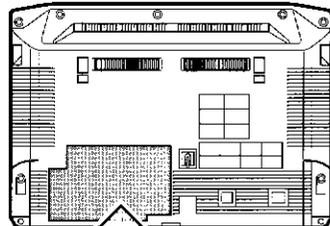
●コンセントを抜くと時計は解除されます。再度時計合わせをしてください。

接続する

●接続の際には、9ページの「各部のはたらき」および接続機器の取扱説明書もご覧ください。



テレビ前面端子
(前面のドアを開けて接続します。)

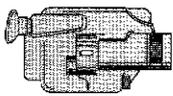


(注) このイラストは
AV-32MF8です。

テレビ後面端子

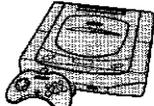
一時的に機器を接続するとき

ビデオムービー



●48ページをご覧ください。

テレビゲーム機



●29ページをご覧ください。

ビデオデッキなどを接続するとき

ビデオデッキ



●48ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ

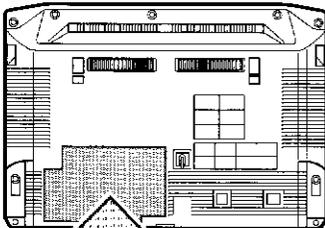


●48ページをご覧ください。

DVDプレーヤー



●53ページをご覧ください。

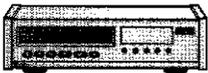


(注) このイラストは
AV-32MF8です。

テレビ後面端子

複数の機器を組み合わせるとき

ビデオデッキ



+

BSデコーダー



●49ページをご覧ください。

ビデオデッキ



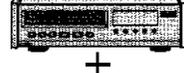
+

MUSE-NTSCコンバーター



●50ページをご覧ください。

ビデオデッキ



+

BSデコーダー



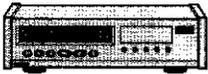
+

MUSE-NTSCコンバーター



●51ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ



+

BSデコーダー



●49ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ



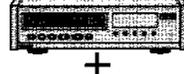
+

MUSE-NTSCコンバーター



●50ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ



+

BSデコーダー



+

MUSE-NTSCコンバーター



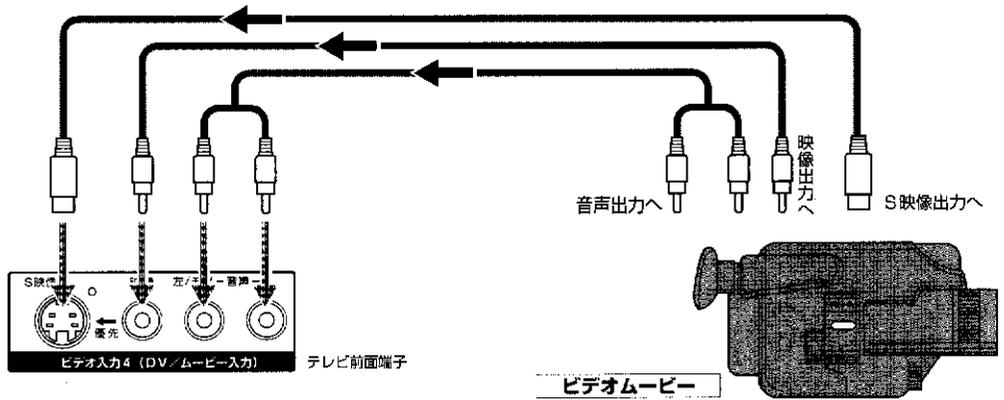
●52ページをご覧ください。

設定

接続と準備

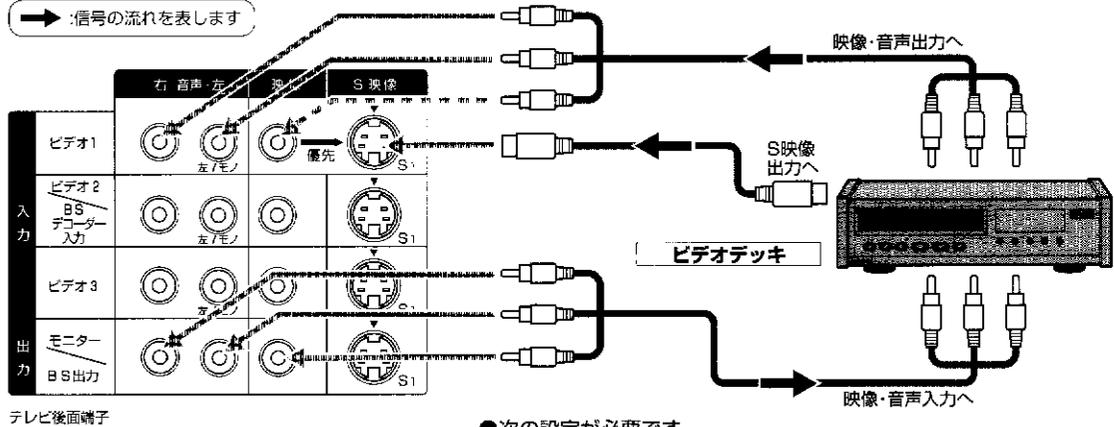
ビデオムービーの接続

→ :信号の流れを表します



ビデオデッキの接続

→ :信号の流れを表します

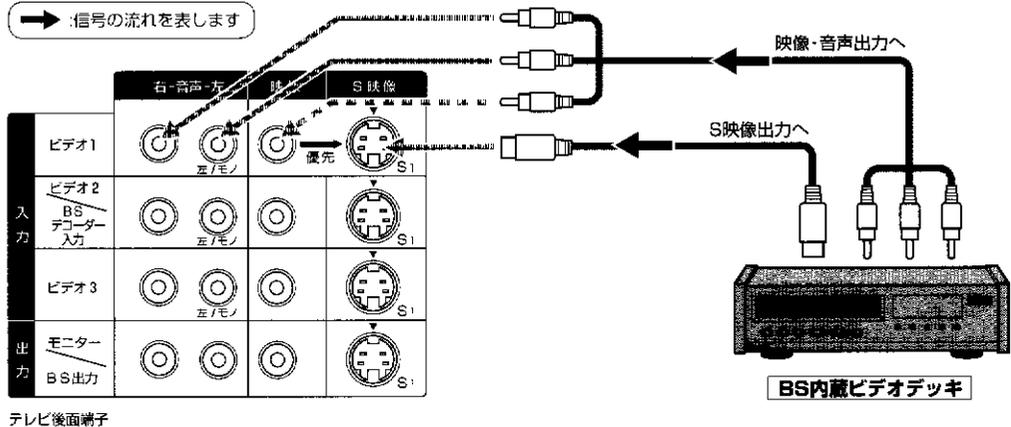


●次の設定が必要です。

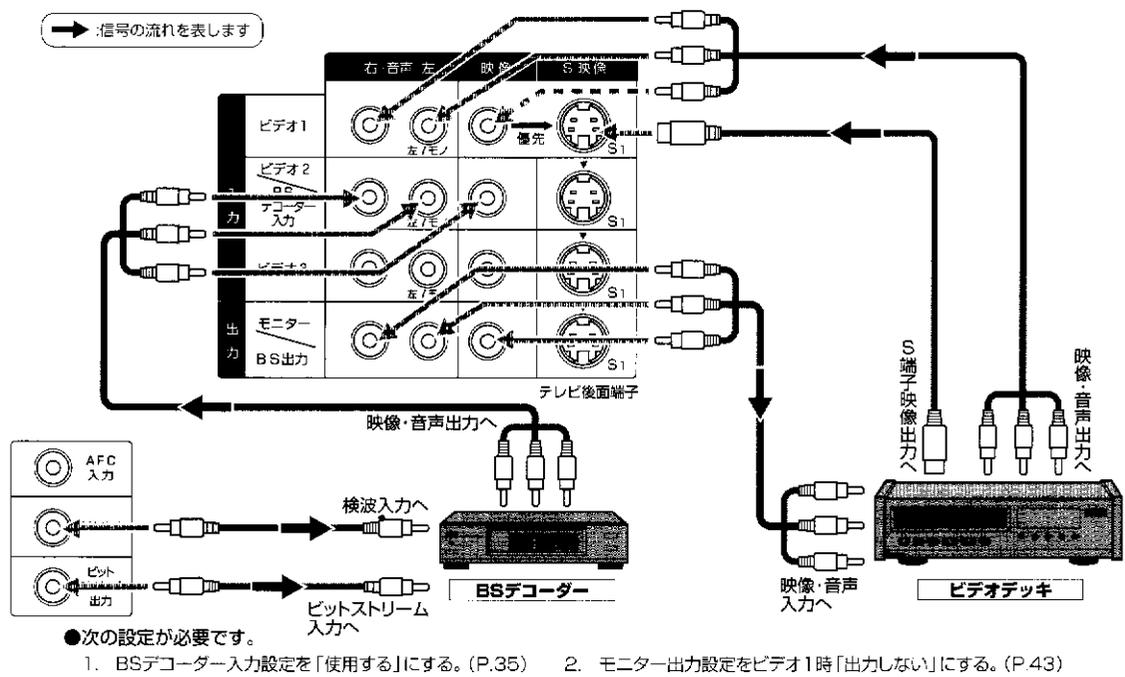
1. モニター出力設定をビデオ1時「出力しない」にする。(P.43)

BS内蔵ビデオデッキの接続

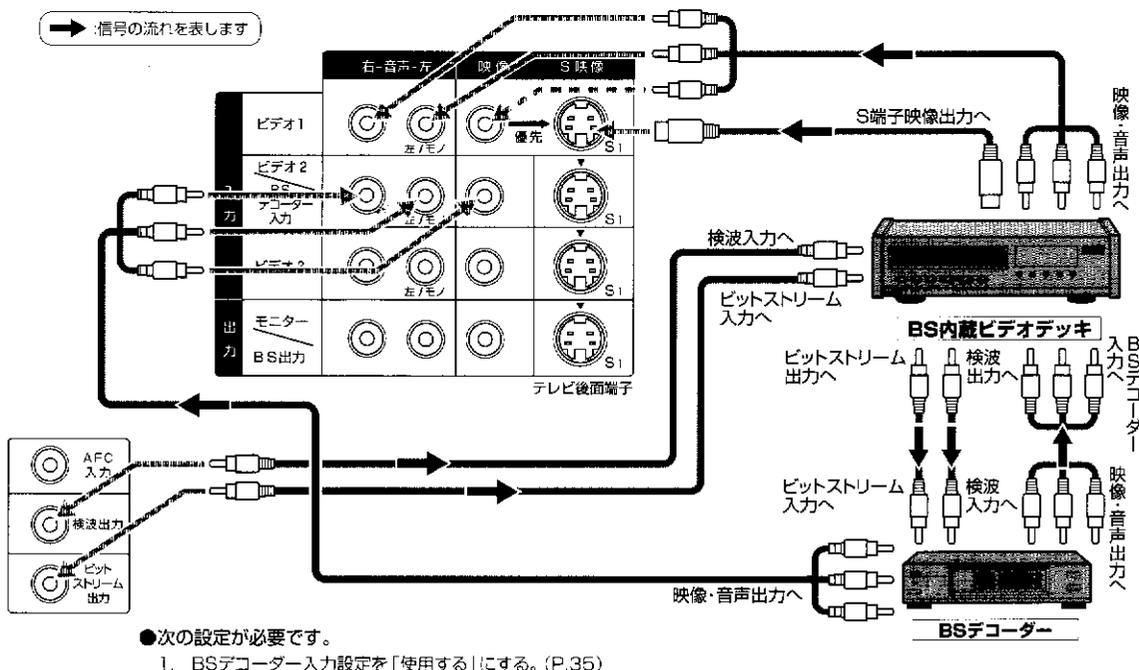
→ :信号の流れを表します



ビデオデッキとBSデコーダーの接続



BS内蔵ビデオデッキとBSデコーダーの接続



接続と準備

WOWOWを見るには

1. BSデコーダーの電源を入れる
2. BS5チャンネルを選ぶ

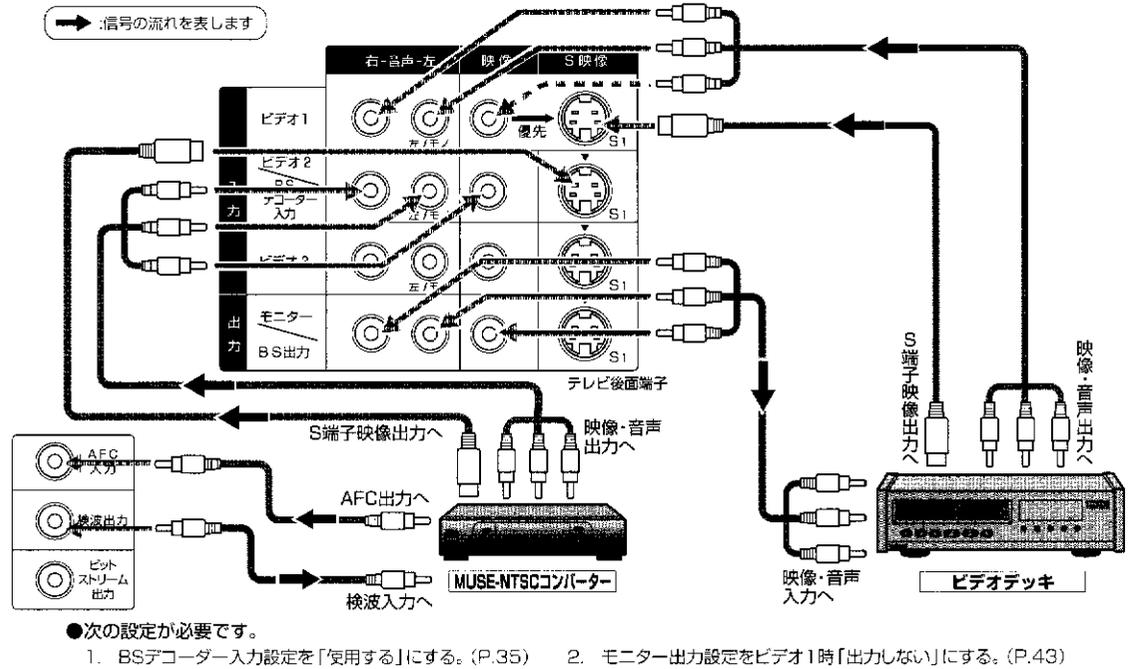
・二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St.GIGAを聞くには

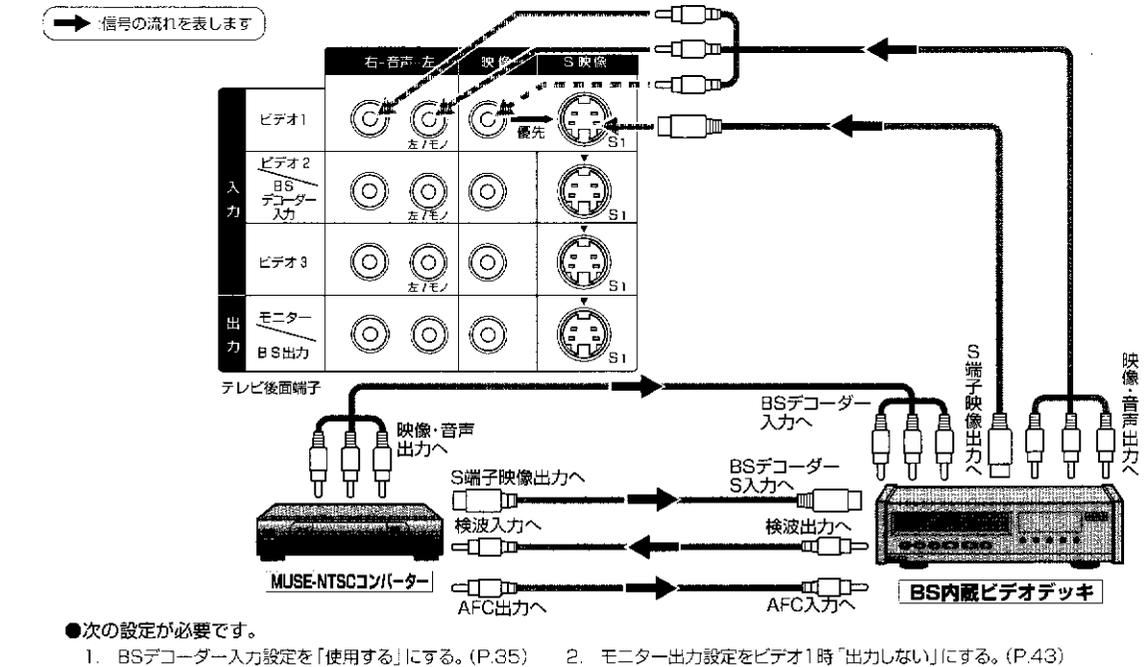
1. BSデコーダーの電源を入れる
2. BS5チャンネルを選ぶ

・独立音声はBSデコーダー側で選びます。

ビデオデッキとMUSE-NTSCコンバーターの接続



BS内蔵ビデオデッキとMUSE-NTSCコンバーターの接続



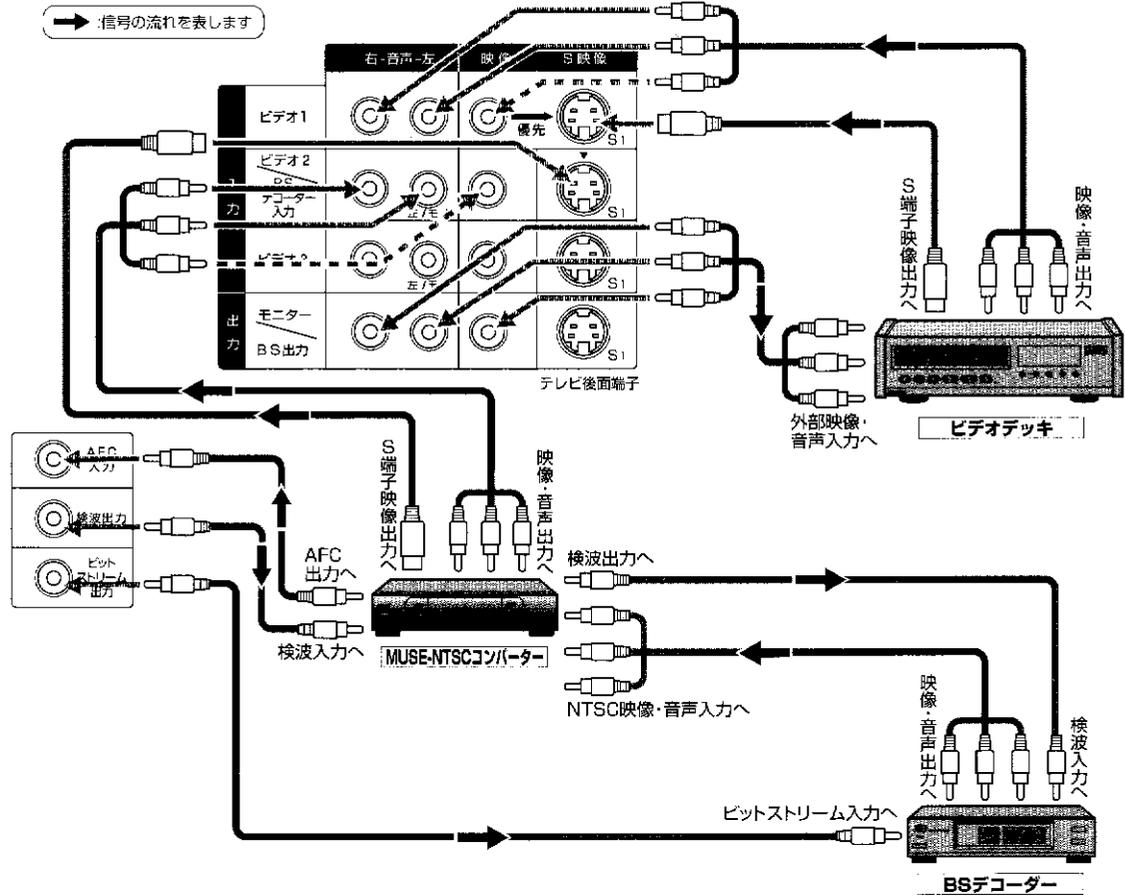
ハイビジョン番組を見るには

1. MUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる
2. BS9 チャンネルを選ぶ

・BS内蔵ビデオデッキを接続している場合は、テレビの入力をビデオ1に切り換え、ビデオデッキ側でBS9チャンネルを選んでください。

・二重音声は、MUSE-NTSC コンバーター側で選びます。

■ビデオデッキとBSデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続



●次の設定が必要です。

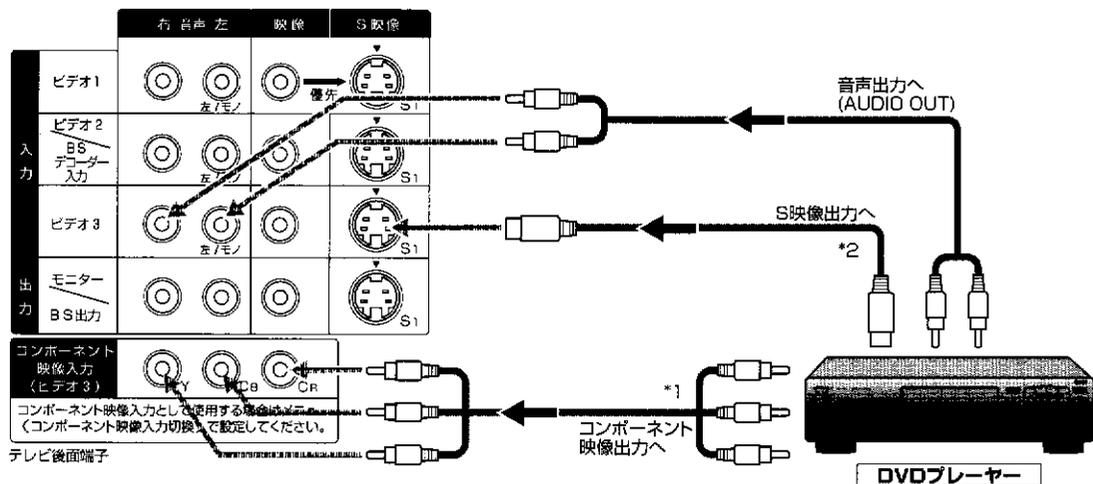
1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.35)
2. モニター出力設定をビデオ1時「出力しない」にする。(P.43)

BS放送を見るには／ハイビジョン番組を見るには

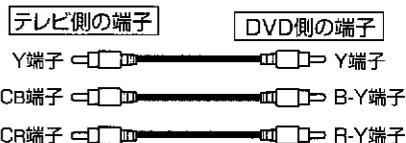
1. テレビ側でBSチャンネルを選ぶ

DVDプレーヤーの接続

→ :信号の流れを表します



- *1 お持ちのDVDプレーヤーにコンポーネント映像出力端子(Y/Cb/Cr)がある場合に接続します。市販のビデオケーブルなどを使って接続してください。
また、DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子がY、B-Y、R-Yの場合は、次のように接続してご覧いただけます。



・この接続をした場合、色がわずかに濃くなります。
あらかじめご了承ください。

- *2 S映像端子は必ず接続してください。S映像端子を通してDVDの映像サイズ切換信号を受け取ります。

■接続したあとは次の設定をしてください

- ・DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)の設定をワイド画面用に設定してください。
詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- ・コンポーネント映像出力端子の有無に合わせて、本機のコンポーネント映像入力の設定をしてください。(P.43)

故障かな?と思ったらまず確かめて

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。

それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください

症状

ここをお確かめください

電源が入らない

・電源プラグがはずれていませんか？

リモコンで操作できない

・本体の電源ランプは点灯していますか？
点灯していなければ本体の電源ボタンを押してください。
・電池の消耗が考えられます。操作できるか確認してください。

VHF、UHFが映らない

・アンテナは正しく接続されていますか？(別冊の共通取扱説明書参照)
・チャンネル合わせは済んでいますか？(P.30～33)

CATVが映らない

・受信契約はお済みですか？
・ケーブルは正しく接続されていますか？
・チャンネル合わせは済んでいますか？(P.33)

BSが映らない

・BSアンテナは正しく接続されていますか？(別冊の共通取扱説明書参照)
・BSアンテナの向きが変わっていませんか？(P.34)
・BSコンバーターへ電源が供給されていますか？(P.35)

BS有料放送が映らない

・BSデコーダーは正しく接続されていますか？(P.49、51・52)
・BSデコーダーの電源は入っていますか？
・BSデコーダー入力設定は「使用する」になっていますか(P.35)

チャンネル合わせができない

・VHF、UHF チャンネルを選んでいませんか？
BSチャンネルやビデオ入力を選んでいると設定できません。

色が出ない、おかしい

・受信周波数がずれていませんか？
チャンネル編集でファイン調整をしてみてください。(P.32)
・色合いや色の濃さの調節をしていませんか？
映像調節の設定を工場出荷時の設定に戻してください。(P.36)

音が出ない

・ヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか？(P.17)

音が出ない(BSのみ)

・独立音声の放送がないときに、独立音声を選んでいませんか？(P.15)

音声がかぶって聞こえる

・2カ国語放送の音声は「主+副」音声になっていませんか？(P.13)

接続したAV機器の映像、
音が出ない

・AV機器は正しく接続されていますか？(P.47～53)
・接続しているAV機器の電源は入っていますか？
・AV機器を接続したビデオ入力を選んでいませんか？(P.13)
・入出力端子の設定は間違っていないですか？(P.9、35、47)

BSチャンネルが選べない、
BSの音声切り換えができない

・BSジャックランプが点灯していませんか？(P.8)
BSジャック中は切り換えられません。録画が終わっていたらBS ジャック解除してください。(P.28)

症状

ここをお確かめください

突然電源が切れた

- ・オフタイマーを設定していませんか？(P.24)
- ・節電設定でおトク機能やテレビ消し忘れ防止機能が動作するように設定していませんか？(P.39～41)
- ・24～27ページのオンタイマー機能でテレビの電源を入れた場合は、何も操作しないで2時間が経過すると自動的にテレビの電源を切ります。

無信号電源オートオフを「する」にしても、 放送終了後電源が切れない

- ・ご覧のチャンネルの放送が終了したあと、時折、別の放送局の映像が映ったり、音声がわずかに聞こえたりしませんか。このようなとき、放送終了と判断されず、正常に動作しない場合があります。

画面表示が消えない

- ・ビデオ機器の映像が映っていますか？受信できるチャンネルを選んでいますか？入力信号が無いときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.13)

●以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善されることもありますが、どうしてもさけられない場合もあります。

雪が降っているような画面(スノーノイズ)で雑音が出る

- ・アンテナは正しく接続されていますか？
- ・アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか？
- ・アンテナの向きが変わっていたり、壊れたりしていませんか？

画像が2重、3重になる(ゴースト)

- ・山や建物などの影響が考えられます。また、放送局のアンテナが近い場合は、テレビに直接入る電波が影響していることも考えられます。

画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)

- ・ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。

画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)

- ・無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

本機が正常に操作できなくなった

- ・外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことが考えられます。電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

このようなときは故障ではありません

●ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じるがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。

●画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起こる場合は、ピクチャーの設定を10程度下げることによって色付きを軽減できます。(P.36)

●部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。

●磁石やスピーカーあるいはブースターなどを近づけたとき、画面がゆれたり色のむらが出ることがあります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。

●ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。

故障かな?と思ったらまず確かめて(つづき)

こんなメッセージが表示されたら

次のようなメッセージが表示されたときは、操作を中止するか、画面の指示にしたがって設定中の機能を解除して、再度操作してください。

メッセージ	意味
3時間無操作のためまもなく電源が切れます 続けて見る場合は音量ボタンを押して下さい	「テレビ消し忘れ防止」の設定が「する」になっている。 →引き続きテレビをご覧になるときは、音量ボタンを押してください。 →3時間以上操作しない場合でも電源が切れないようにしたいときには、「テレビ消し忘れ防止」の設定を「しない」にしてください。(P.41)
BSアンテナ電源を確認して下さい	共聴アンテナなど、他のBS機器から電源を供給しているとき、BS電源を「入(起動)」にした。 →BSアンテナ電源を「切」にしてください。(P.35)このとき、既にBSアンテナ電源が「切」に設定されているときは、おトクボタンを押し、おトク設定を「ニュー連動」にしてください。(P.39) BSアンテナやケーブル類、コネクター部の劣化によるショートが考えられる →販売店に確認してもらってください。
BSジャック中のため操作できません	BSジャックを「入」にしているとき、以下の操作をしようとした。 <ul style="list-style-type: none">●BSチャンネルを切り換えようとした。●BSアンテナ電源設定をしようとした。●BSデコーダー入力設定をしようとした。●固定したBSチャンネルを見ているときに、二重音声あるいはTV/独立声を切り換えようとした。 →BS録画をしていないことを確認の上、BSジャックを「切」に設定し、再度操作してください。(P.28)
BSモードではありません	BSチャンネルが選ばれていないときに、以下の操作をしようとした。 <ul style="list-style-type: none">●TV/独立音声を切り換えようとした。(P.15)●BSジャックを「入」にしようとした。(P.28)●BSアンテナ入力レベルの確認をしようとした。(P.34)●BSアンテナ電源設定を変更しようとした。(P.35) →BSチャンネルボタンを押してから再度操作してください。
ゲーム入力がビデオ2に設定されています	ゲーム入力の設定が「ビデオ2」に設定されているときに、BSデコーダー入力設定を変えようとした。 →ゲーム入力を「ビデオ2」以外に設定し、再度操作してください(P.35)。
ヘッドホン音声は調節できません。	ヘッドホンに対して、スペシャライザーの切替や、音声調節を行おうとした。 →ヘッドホン音声の調節は行えません。
静止中のため操作できません。	静止画で表示しているときに、操作画面選択を行おうとした。 →静止画表示中は、操作画面選択は行えません。静止ボタンを押し、静止状態を除してください。(P.14)

メッセージ

意味

TV/BSモードではありません

ビデオ入力を選んでいるときに、チャンネル編集や来週番組予約をしようとした。
→チャンネル1~12ボタンBS1~15ボタンを押し、再度操作をしてください。

TVモードではありません

ビデオ入力、BSチャンネルを選択しているときに地域チャンネル設定をしようとした。
→チャンネル1~12ボタンを押し、再度操作してください。

時計を合わせて下さい

本機の時計設定をしないで来週番組予約あるいは番組予約タイマー、おはようタイマーの設定をしようとした。
→本機の時計合わせをしてください。(P.46)

ビデオ2選択中のため操作できません

ビデオ2を選んでいるときに、BSデコーダー入力の設定を変えようとした。
→チャンネル1~12ボタンを押し、再度操作してください。

ビデオモード選択中のため操作できません

ビデオ入力を選んでいるときに音声切換ボタンを押した。
→音声の切り換えは、ビデオ側で行ってください。

無信号のためまもなく電源が切れます

電源オートオフ設定の「無信号電源オートオフ」の設定が「する」になっている。あるいは、おトク設定が「入」になっている。
→無信号の場合でも電源が切れないようにしたいときには、電源オートオフの「無信号電源オートオフ」の設定を「しない」にし、おトク設定を「メニュー連動」にしてください。(P.39・P.40)

ノーマルのため操作できません

画面サイズがノーマルのとき、画面上下移動をしようとした。
→ノーマルサイズのとき、画面上下移動はできません。

設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます
続けて見る場合は音量ボタンを押して下さい

電源オートオフの「深夜電源オートオフ」が設定されている。あるいは、おトク設定が「入」になっている。
→深夜電源オートオフ機能が動作しないようにしたいときには、電源オートオフの「深夜電源オートオフ」の設定を「しない」にし、おトク設定を「メニュー連動」にしてください。(P.39・P.40)

本日 番組予約があります

「番組予約タイマー」あるいは「来週番組予約」のタイマー予約で、本日タイマー予約があるときにメッセージで知らせます。
→予約内容を確認したいときには、確認ボタンを押すことで確認できます。(P.27)

2画面モードのため操作できません

2画面で表示しているときに、画面サイズ切換、ゴースト低減の操作、地磁気補正の操作をしようとした。
→2画面表示を終了してから、再度操作してください。

同一チャンネルの2画面はできません

2画面で表示しているときに、同じチャンネルを左右に表示させようとした。
→同じチャンネルは、表示できません。

BSモードの2画面はできません

2画面で表示しているときに、BSチャンネルを左右に表示させようとした。
→BSどちらの2画面表示はできません。

操作画面が右のため操作できません

2画面で表示しているときに、副画面の音声を調節しようとした。
→副画面の音声は、モノラル音声です。音声の調節はできません。(P.16)

用語索引

数字

2画面ボタン 16

A～Z

AFC入力端子 9
BSアンテナ接続 別冊
BSアンテナ電源 35
BSアンテナ入力端子 9
BSアンテナ入力レベル 34
BSジャック 8、28
BSチャンネルボタン 12
BSデコーダー入力端子 9
BSデコーダー接続 49
BSデコーダー入力設定 35
BS電源オートオフ 39・40
BS内蔵ビデオデッキ接続 .. 48～50
CATV 33
CATVダイレクト 33
CH目次ボタン 18
DVDプレーヤー接続 53
DV/ムービー入力端子 8
E.E. センサー表示 41
E.E. センサー 8、39
GRTオートデモ 45
GRT時間設定 45
St.GIGA(セントギガ) 49
TV/独立音声設定 15
VHF/UHFアンテナ接続 別冊
VHF/UHFアンテナ入力端子 ... 9
WOWOW(ワウワウ) 49

A～オ

アンテナコネクタ 表紙
裏番組ボタン 20
映像設定 36
映像選択ボタン 15
オートパノラマ 13、23
画面サイズ選択オートパノラマボタン 13、23
おトクボタン 39
おトク機能 39
おはようタイマー設定 24
オフタイマーボタン 24
音声設定 38
音声切換ボタン 13
オンタイマーランプ 8
音量＋ボタン 12
音量＋ボタン(本体) 8

カ～コ

画面入換 17
画面サイズ選択 13
画面サイズ選択ボタン(本体) 8
画面上下移動 23
画面表示ボタン 13
乾電池のセット 10
局名シール 表紙
決定ボタン 19・20
ゲーム 15
ゲーム入力設定 29
ゲームボタン 29
検波出力端子 9
コンポーネント映像入力 38
コンポーネント映像入力端子 ... 9

サ～ソ

シアター 15
シネマ 15、23
字幕パノラマ 23
主音声 13
主画面 16
受信チャンネル 30
消音ボタン 13
白バランス設定 37
深夜電源オートオフ 35・36
スタンダード 15
ステレオ 13・14
静止ボタン 14
操作画面 16
操作画面選択ボタン 17
節電機能 39

タ～ト

ダイナミック 15
タイマー機能 24
地域チャンネル設定 30
地域番号 30、別冊
地磁気補正 42
チャンネル合わせ 30
チャンネル＋ボタン 8
チャンネル＋ボタン(本体) 8
チャンネルスキップ設定 32
チャンネル編集 32
チャンネルボタン 12
テレビゲーム接続 29
テレビ消し忘れ防止 41

電源オートオフ設定 4
電源プラグ
電源ボタン 1
電源ボタン(本体) 1
電源ランプ
動作確認用電池 表紙
独立音声 1
時計合わせ 4

ナ～ノ

二重音声放送 1
入力切換ボタン 1
入力切換ボタン(本体)
ノーマル 2
ノーマル(4:3)映像サイズ設定 .. 4

ハ～ホ

ハイビジョン番組 50～5
パノラマ 2
番組予約確認 2
番組予約タイマー設定 2
ビットストリーム出力端子
ビデオ1入力端子
ビデオ2入力端子
ビデオ3入力端子
ビデオ4入力端子
ビデオデッキ接続 48～5
ビデオムービー接続 4
ファイン調整 3
副音声 1
フル 2
ヘッドホン端子 8、1

マ～モ

マルチ裏番組サーチ 2
マルチチャンネル目次 1
無信号電源オートオフ ... 39・4
メニューボタン
戻るボタン 1
モニター/BS出力端子
モニター出力設定 4
モノラル 1

ヤ～ワ

来週番組予約ボタン 2
リモコン 表紙、1
ワイドED 2
ワイドクリアビジョン ... 12、2

主な仕様

項目	型名	AV-28MF8	AV-32MF8/ AV-32MH8	AV-36MF8
種類		BSフラットワイドテレビ		
受信方式		NTSC		
受信チャンネル		VHF 1~12/UHF 13~62/CATV C13~C38/ BS 1・3・5・7・9・11・13・15		
使用電源		AC100V、50/60Hz		
消費電力		158W 待機時0.6W	162W 待機時0.6W	180W 待機時0.6W
年間消費電力量		182kW・h/年	187kW・h/年	200kW・h/年
画面寸法 (幅×高さ×対角)		57.2×32.2×65.7cm	65.9×37.1×75.6cm	74.6×42.0×85.6cm
音声出力		10W+10W (8Ω)		
スピーカー		8cm×12cm 楕円型、2個		低音用： 10cm 丸型、2個 中高音用： 3×10cm 楕円型、2個
アンテナ端子		VHF/UHF 75Ω、F型 BS 75Ω、F型 (BSコンバーター用電源DC15V 4W重畳)		
入力・出力端子	ビデオ1/2/3/4入力端子 (ビデオ2はデコーダー入力と共用)	S1映像 (S映像) : Y 1Vp-p、75Ω、同期負 C 0.286Vp-p (バースト信号)、75Ω 映像 : 1Vp-p、75Ω、同期負 音声 : 0.5Vrms、ハイインピーダンス		
	コンポーネント映像入力端子 (ビデオ3)	Y 1Vp-p、75Ω、同期負 Cb、Cr 0.7Vp-p、75Ω		
	モニター出力端子 (BS出力と共用)	S1映像 (S映像) : Y 1Vp-p、75Ω、同期負 C 0.286Vp-p (バースト信号)、75Ω 映像 : 1Vp-p、75Ω、同期負 音声 : 0.5Vrms、ローインピーダンス		
	ビットストリーム出力端子	0.5Vp-p、75Ω		
	換流出力端子	0.67Vp-p、75Ω		
	AFC入力端子	BTA S-1003に準拠		
	ヘッドホン端子	直径 3.5mm ステレオミニジャック		
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)		72.5×49.5×47.9cm	81.7×55.0×54.9cm	91.2×62.4×59.3cm
質量 (重さ)		41.1kg	54.5kg	79.0kg
付属品		表紙をご覧ください。		
別売品		テレビスタンド RK-C28FD1 (28型用) RK-C32FD1 (32型用) RK-C36FD1 (36型用) アンテナ混合器 VZ-84		

※このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※テレビの型(28型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

※年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

※AV-28MF8、AV-32MF8、AV-36MF8およびAV-32MH8は、「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様相談センター

別冊「共通取扱説明書」の
14～16ページをご覧ください。

東京 ☎ (03) 5684-9311 【代表】
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪 ☎ (06) 765-4161 【代表】
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の都合による劣化が著化し、故障したり、時には安全性を損なう場合も発生することがあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、またはと右の映像が欠けて来る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中
止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



Victor JVC
日本ビクター株式会社

テレビ事業部

〒306-0698 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話 (0297) 35-0066